

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

## 農 薬 抄 録

一般名 : フロニカミド  
(用途別種類名) 「殺虫剤」

(作成年月日)

平成25年 4月 5日改訂

(作成会社名) 石原産業株式会社

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

目 次

	頁
1. 開発の経緯-----	1
2. 物理的・化学的性状-----	5
3. 生物活性-----	18
4. 適用及び使用上の注意-----	20
5. 農薬残留量-----	25
6. 有用動植物等に及ぼす影響-----	97
7. 使用時安全上の注意、解毒法等-----	122
8. 毒性-----	123
8.1 急性毒性-----	132
8.2 眼及び皮膚に対する刺激性並びに皮膚感作性-----	137
8.3 急性神経毒性-----	141
8.4 90日間反復経口投与毒性-----	144
8.5 反復経口投与毒性及び発がん性-----	170
8.6 繁殖毒性及び催奇形性-----	227
8.7 変異原性-----	241
8.8 生体機能影響-----	255
8.9 毒性発現機序検討試験-----	261
8.10 原体混剤物及び代謝物毒性-----	273
8.11 製剤毒性-----	303
9. 動植物及び土壌等における代謝分解-----	342
9.1 動物代謝に関する試験-----	350
9.2 植物代謝に関する試験-----	388
9.3 土壌中動態に関する試験-----	408
9.4 水中動態に関する試験-----	427
[附]フロニカミドの開発年表-----	449

## 1. 開発の経緯

### 1.1 発明の背景

農耕地のように単純化された生態系の中では、害虫は時に爆発的に増大し、食料生産に甚大な被害をもたらすことがある。農業は、農作物を安定供給するために非常に有効であるが、一方で化学農業の連用は害虫の薬剤抵抗性の発達を促し、更に非選択性殺虫剤の使用に偏重した防除体系下では、リサーチエンスを呼び起して害虫防除を困難にしてきた。害虫の種類、発消長に合わせた最適な防除手段を選び、合理的に害虫を管理する IPM の考え方が提唱されて久しい。IPM の実践には、対象害虫に選択的に卓効を示し、他の有用生物には安全な選択的殺虫剤を相当数確保する必要があるが、現状それは充分ではない。

当社では、このような観点から、対象害虫に選択的な活性を持つ化合物の探索を進めていたが、

に、一連の研究の中から、半翅目害虫、特にアブラムシ類に高い活性を持つが、天敵、訪花昆虫等の有用生物には影響の無い、フロニカミド (試験名 IKI-220) を発明するに至った。

### 1.2 開発の経過

#### 1) 基礎研究

当社、中央研究所では、より、アミド系化合物の探索研究を進めてきた。これらは主に殺虫活性を持つ化合物群であったが、前述のように高い殺虫効果と安全性を併せ持つ化合物を探求した結果、に、フロニカミドを含む数種の高活性化合物を発明することが出来た。所内における薬効、安全性の予備評価を実施、最も特性の優れていたフロニカミドを選抜し、本格的に開発を開始した。

フロニカミドの主な特性は次の通りである。

- (1) アブラムシ類を始めとする吸汁性害虫に選択的に高い効果を示す。吸汁行動を阻害することにより、害虫を死に至らしめるため、見かけ上、効果の発現は遅効的である。しかし、薬剤処理直後から吸汁行動を阻害するため被害の拡大は無い。
- (2) 従来の何れの殺虫剤とも異なる作用点を持つと考えられる。また、既存の薬剤に抵抗性を持つ系統に対しても、感受性系統と同様に十分な効果があることが確認されている。比較的低葉量 (最低有効成分濃度 25 ppm) で実用化できること、残効性と耐雨性に優れることから、散布回数の低減や、投下有効成分量の低減に寄与できる。
- (3) 天敵、訪花昆虫、標的外生物に影響がなく、IPM に適している。対象作物に対する薬害は無く、安全に使用することができる。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

## 2) 開発研究

基礎試験に基づき、10%顆粒水和剤の剤型で、以降、日本植物防疫協会への委託試験を開始した。野菜類、果樹、馬鈴薯など広範な作物で、実用性の確認を開始した結果、には総合総括結果として次頁の内容で「実用性あり」と判定された。

作物名	適用害虫	希釈倍数
もも なし うめ	アブラムシ類	2000
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	1000
いちご	アブラムシ類	2000~4000
きゅうり	オンシツコナジラミ	2000
メロン なす	アブラムシ類	2000~4000
トマト	オンシツコナジラミ	2000
ばれいしょ	アブラムシ類	2000~4000
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000

また、その後も他の作物、病害虫を対象に効果試験を継続し、りんご、すいか、だいずの「アブラムシ類」、なすの「オンシツコナジラミ」、ねぎの「ネギアザミウマ」についても、日本植物防疫協会の総合判定会議で実用性ありと判定されている。

薬効・薬害試験と併行して、急性毒性試験、慢性毒性試験を始めとする、安全性に係る種々の GLP 試験を開始し、にそのすべてを完了した。その概要は本抄録の以下に示す通りである。尚、長期毒性試験の実施にあたっては、アブラムシ類の防除の重要性と本剤の新規性に鑑み、農林水産省新農薬開発促進事業の適用を受けた。

基礎研究、開発研究を通じ、フロニカミドは低薬量で対象害虫に優れた効果を発揮し、IPM に適した薬剤であることが確認できた。本剤は、抵抗性発達の著しい、アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類の防除場面で、待望される農薬であると考えられる。また、作物、人畜、環境に対する安全性も高く、適正な使用条件を守ることで、これらに悪影響を及ぼすことはないと考えられる。

上述の顆粒水和剤の開発と併行し、1%粒剤の開発も指向し、以降、日本植物防疫協会への委託試験を開始した。野菜類で実用性の確認を開始した結果、には総合総括結果として「実用性あり」と判定され、に新規申請を行った。

また、14%くん煙剤の開発も同時に行い、メロン、いちご、なす、すいか、トマトで日本植物防疫協会への委託試験を開始した。には、いちご、メロンで「実用性あり」と判定され、にまずメロンで登録認可が下りた。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

### 1.3 諸外国における登録状況

本剤が対象とする吸汁害虫は、全世界に分布しており、重要害虫となっていることから、世界各国で開発を進めている。日本以外の国では、米国で温室内花卉類を対象とした非食用作物に農薬登録がある。食用分野についても、に登録認可された。米国以外では、欧州各国、ブラジル他中南米諸国、韓国、中国他アジア諸国で順次登録申請を進めているところであり、英国においては、食用作物対象にに登録が認可された。

EU	食用	年 月 Annex I listing
英国	食用	年 月認可
フランス	食用	年 月認可
北アイルランド	食用	年 月認可
アイルランド	食用	年 月認可
ドイツ	食用	年 月認可
イタリア	食用	年 月認可
オランダ	食用	年 月認可
ベルギー	食用	年 月認可
オーストリア	食用	年 月認可
ハンガリー	食用	年 月認可
ルーマニア	食用	年 月認可
米国	非食用	年 月認可
米国	食用	年 月認可
メキシコ	非食用	年 月認可
ブラジル	食用及び非食用	年 月認可
コロンビア	食用	年 月認可
韓国	食用	年 月認可
中国	食用	年 月認可
台湾	食用	年 月認可
チェコ	食用	年 月認可
デンマーク	食用	年 月認可
スイス	食用	年 月認可
マルタ	食用	年 月認可
ポーランド	食用	年 月認可
ギリシャ	食用	年 月認可
スペイン	食用	年 月認可
キプロス	食用	年 月認可
フィンランド	食用	年 月認可
イスラエル	食用	年 月認可
トルコ	食用	年 月認可
モロッコ	食用	年 月認可
クロアチア	食用	年 月認可

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

ポルトガル 食用

年 月認可

#### 1.4 毒性評価状況

国名	評価年	ADI (mg/kg/day)	根拠試験	安全係数
日本	2009	0.0732	ラット慢性毒性・発がん性試験	100
EU	2010	0.025	ウサギ催奇形成試験	100
EPA	2005	0.04 (RfD)	ラット2世代繁殖性試験	100

## 2. 物理的・化学的性状

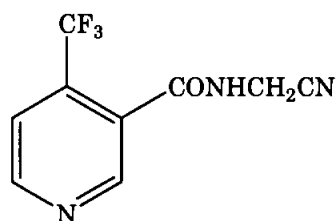
### 2.1 有効成分の名称及び化学構造

1) 一般名           フロニカミド  
                      flonicamid (ISO 名)

2) 別名            商品名       ウララ  
                      試験名       IKI-220

3) 化学名  
      IUPAC        *N*-シアノメチル-4-(トリフルオロメチル)ニコチンアミド  
                      *N*-cyanomethyl-4-(trifluoromethyl)nicotinamide  
      CA            *N*-(シアノメチル)-4-(トリフルオロメチル)-3-ピリジンカルボキサミド  
                      *N*-(cyanomethyl)-4-(trifluoromethyl)-3-pyridinecarboxamide

#### 4) 構造式



5) 分子式           C<sub>9</sub>H<sub>6</sub>F<sub>3</sub>N<sub>3</sub>O  
6) 分子量           229.2  
7) CAS No.         158062-67-0

### 2.2 有効成分の物理的・化学的性状

1) 外観・臭気       白色固体 (粉末)、無臭 (官能法)  
                      (                   1999年 GLP)

2) 密度             1.54 g/cm<sup>3</sup> (20℃) 比重ビン法 (OECD ガイドライン No. 109)  
                      (                   1999年 GLP)

3) 融点             157.5℃ DSC 法 (OECD ガイドライン No. 102)  
                      (                   1999年 GLP)

4) 沸点             約 306~320℃で分解のため、沸点又は沸点範囲を求めることはできなかった。  
                      毛細管試験法 (OECD ガイドライン No. 103)  
                      (                   2002年 GLP)

5) 蒸気圧           2.55×10<sup>-6</sup> Pa (25℃) 気体飽和法 (OPPTS ガイドライン 830.7950)  
                      (                   1999年 GLP)

- 6) 溶解度 水溶解度 (20℃) フラスコ振とう法 (OPPTS ガイドライン 830.7840)  
脱イオン水: 5.2 g/L (20℃)  
( 1999年 GLP)  
有機溶媒 (20℃) フラスコ振とう法 (OPPTS ガイドライン 830.7840)  
アセトン 186.7 g/L 酢酸エチル 33.9 g/L  
メタノール 110.6 g/L ジクロロメタン 4.5 g/L  
トルエン 0.55 g/L ヘキサン 0.0002 g/L  
n-オクタノール 3.0 g/L アセトニトリル 146.1 g/L  
2-プロパノール 18.7 g/L  
( 1999年 GLP)
- 7) 解離定数  $pK_a=11.60 \pm 0.03$  (20±1℃) 吸光光度法 (OECD ガイドライン 112)  
( 1999年 GLP)
- 8) 分配係数 (n-オクタノール/水)  $\log P_{ow} = 0.3$   
[液体クロマトグラフ法 (OECD ガイドライン No. 117), 29.8℃]  
( 1999年 GLP)
- 9) 生物濃縮性 分配係数 (n-オクタノール/水) が3未満であるため、未測定)
- 10) 土壌吸脱着係数  $K_{adsF}=5\sim 11$ ,  $K_{rdes}=8\sim 21$   
試験温度 25±2℃  
OECD ガイドライン No. 106  
( 2002年 GLP)
- 11) 安定性
- ① 熱 DSC で 25℃から 150℃まで測定したが、この測定中に、顕著な被験物質の吸熱又は発熱作用は認められなかった。また、測定後、重量変化と外観上に変化が認められなかったことより、この試験条件下では空气中で熱に安定であると考えられた。  
[DSC 法 (OECD ガイドライン No. 113)]  
( 2002年 GLP)
- ② 加水分解性 酸、アルカリ 25℃暗所における希薄水溶液中での pH と半減期は次の通り。
- | pH      | 5  | 7  | 9   |
|---------|----|----|-----|
| 半減期 (日) | 安定 | 安定 | 204 |
- ( 2002年 GLP)
- ③ 水中光分解性 (OECD ガイドライン 106)  
[25±2℃、キセノンランプ、35.7W/m<sup>2</sup> (300~400 nm)]  
東京春太陽光換算  
pH7 緩衝液 半減期; 2272 日  
自然水 半減期; 909 日  
( 2002年 GLP)



12) UV、赤外、MS、NMR (H-, C-)等のスペクトル

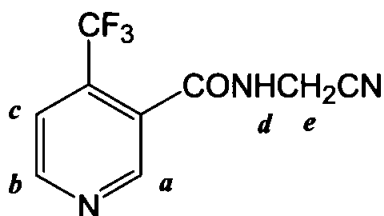
① MS のスペクトラム ( 1999 年 GLP)

直接導入/化学イオン化法 (DEP/CI)により測定したフロニカミドの質量スペクトラムを図-1に示す。

m/z	230	: (M+1)
m/z	229	: (M+), 分子イオン
m/z	203	: M-26, CN の脱離
m/z	174	: M-55, (NHCH <sub>2</sub> CN)の脱離
m/z	160	: M-69, CF <sub>3</sub> の脱離
m/z	146	: M-83, CONHCH <sub>2</sub> CH の脱離
m/z	69	: CF <sub>3</sub>
m/z	50	: CF <sub>2</sub>
m/z	40	: CH <sub>2</sub> CN

② <sup>1</sup>H-NMR スペクトラム ( 2002 年 GLP)

d<sub>6</sub>-ジメチルスルホキシド中で測定したフロニカミドの<sup>1</sup>H-NMRスペクトラムを図-2に示した。各シグナルの帰属を以下に示す。



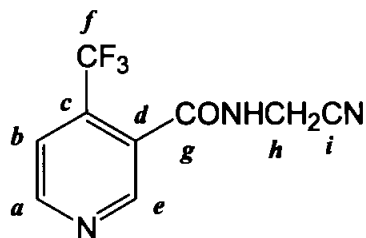
ケミカルシフト (ppm)	プロトン
8.86 (s)	a
8.97 (d)	b
7.88 (d)	c
9.54 (t)	d
4.40 (d)	e

(s): singlet (d): doublet (t): triplet

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

③  $^{13}\text{C}$ -NMR スペクトラム ( 1999年 GLP)

アセトニトリル- $d_3$  中で測定したフロニカミドの  $^{13}\text{C}$ -NMR スペクトラムを図-3 に示した。各シグナルの帰属を以下に示す。



ケミカルシフト (ppm)	カーボン
166.57(s)	g
153.72, 153.49(s)	e
150.16(s)	a
136.35, 135.90, 135.45, 135.01(q)	c
129.69	d
129.04, 125.41, 121.78(q)	f
121.26, 121.21(s)	b
119.08~117.53(s)	溶媒の $\text{C}\equiv\text{N}$
117.30(s)	i
28.8(s)	h
2.22, 1.94, 1.67, 1.39, 1.12, 0.84, 0.57	溶媒の- $\text{CD}_3$

(s) : singlet, (d) : doublet, (t) : triplet, (q) : quartet

注) : カーボン "f" の 4 番目のピークは、118.41 ppm に中心のある溶媒ピークの下に隠れている。

④ IR スペクトラム ( 1999年 GLP)

KBr 法で測定したフロニカミドの IR スペクトラムを図-4 に示した。

特徴的な吸収を以下に示す。

3284 $\text{cm}^{-1}$	N-H 伸縮 (アミド)
3066 及び 3001 $\text{cm}^{-1}$	芳香族 C-H 伸縮
2920 $\text{cm}^{-1}$	脂肪族 C-H 伸縮
2247 $\text{cm}^{-1}$	$\text{C}\equiv\text{N}$ 伸縮
1655 $\text{cm}^{-1}$	アミドのカルボニル
1157 及び 1138 $\text{cm}^{-1}$	C-F 伸縮
1581 $\text{cm}^{-1}$	C=C 及び C=N 伸縮

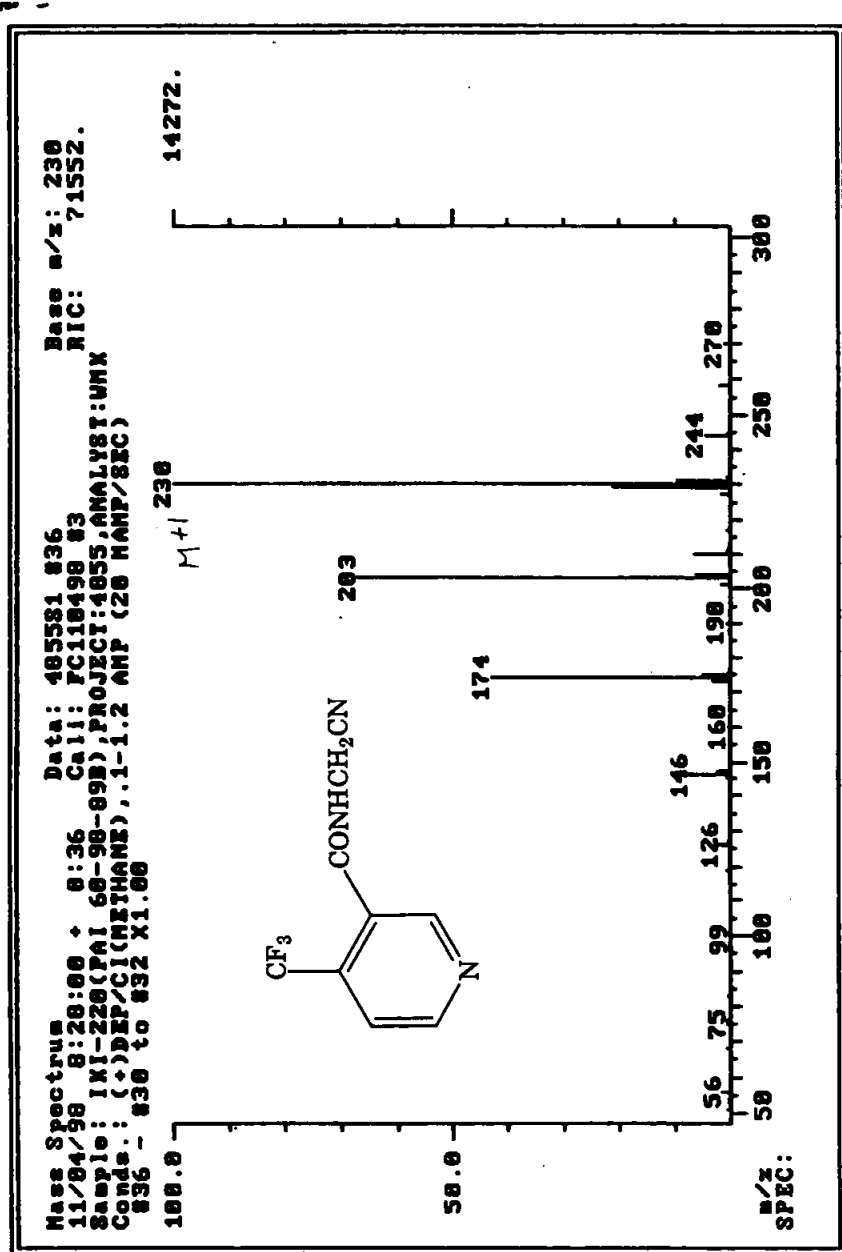
⑤ UV スペクトラム ( 1999年 GLP)

水溶液中で測定したフロニカミドの UV スペクトラムを図-5 (中性)、6 (酸性)、7 (塩基性) に示した。吸収の極大及びモル吸光係数を以下に示す。

$\lambda$ max	265 nm	モル吸光係数	3900 L/cm mol
---------------	--------	--------	---------------

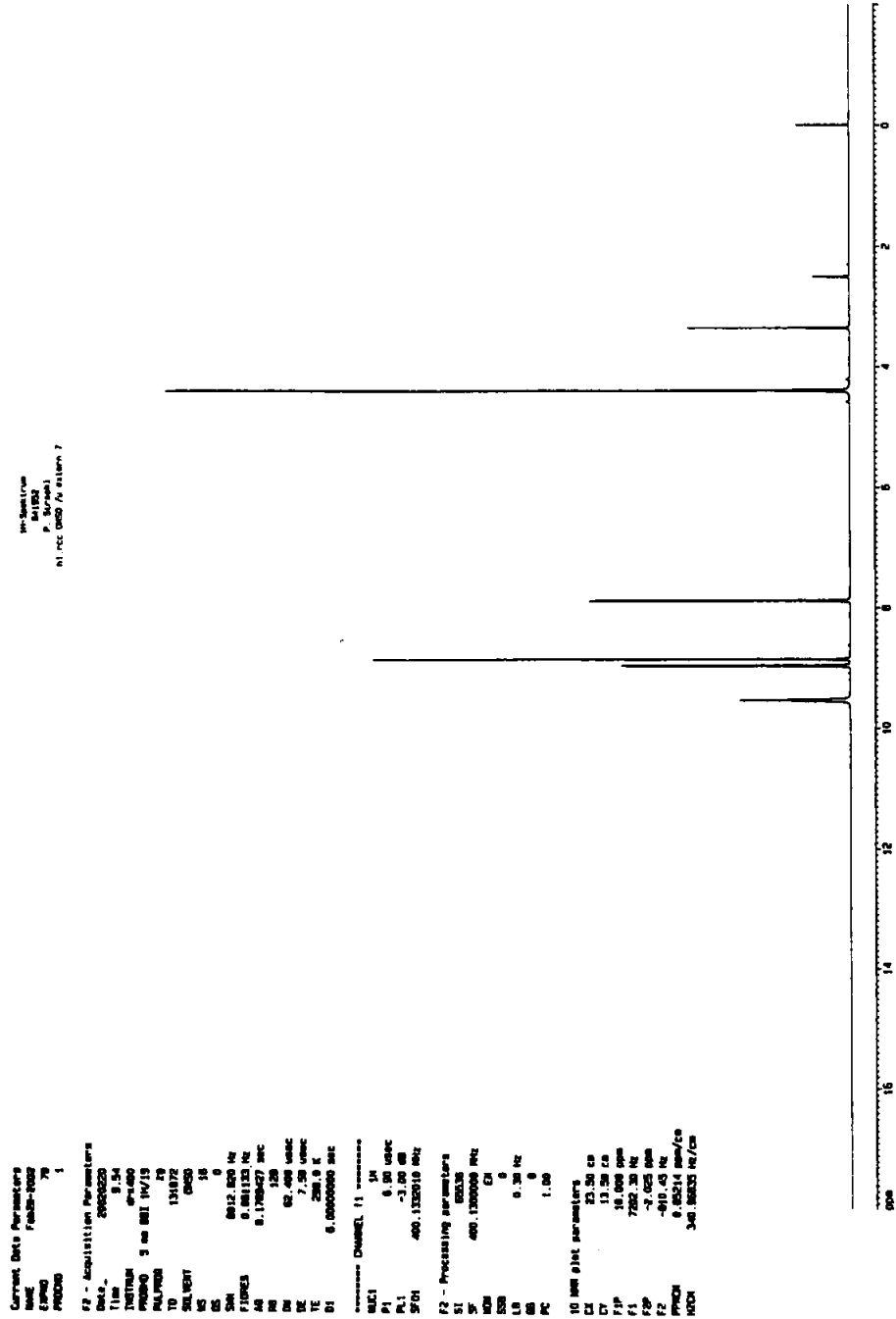
IKI-220 (PAI Lot 9803)

図-1 質量スペクトラム



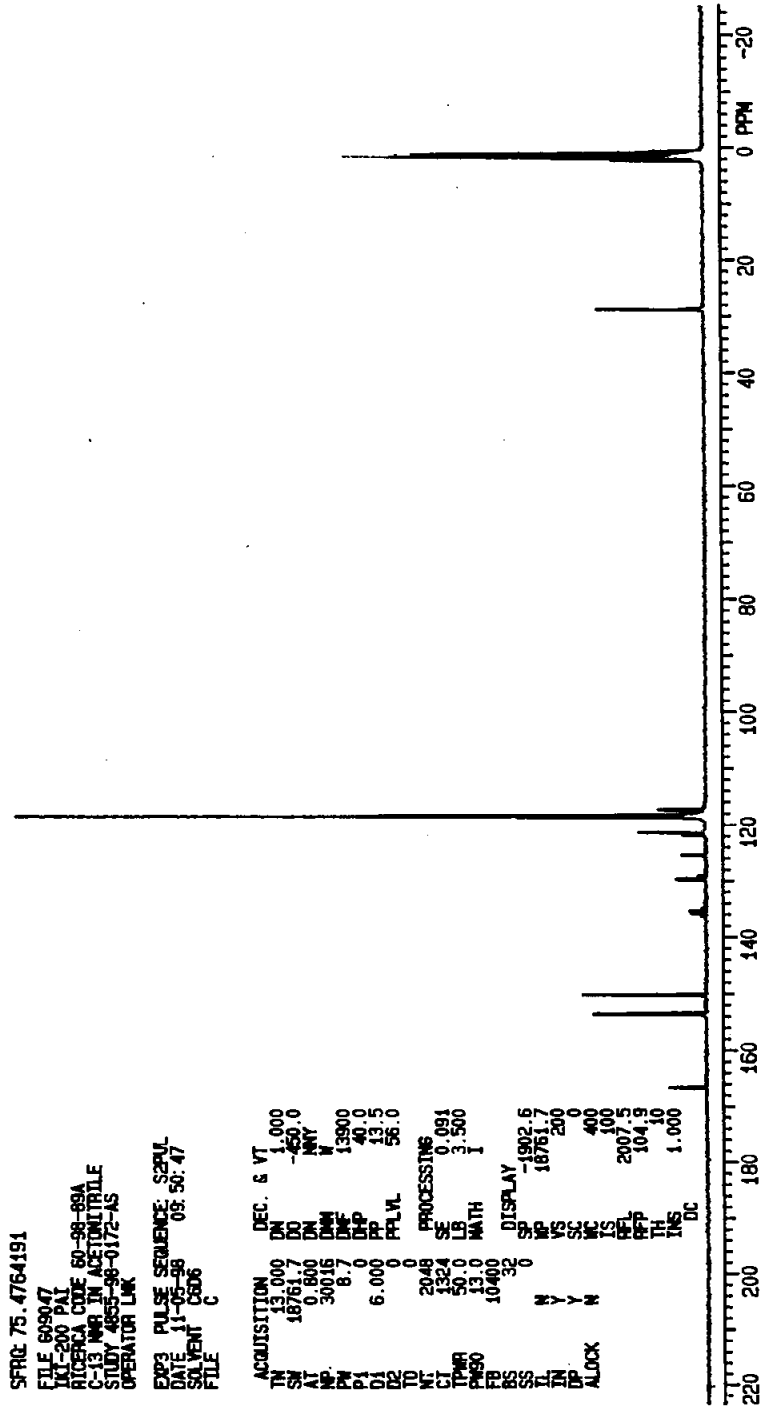
IKI-220 (PAI Lot 9803)

図-2 <sup>1</sup>H-NMR スペクトラム



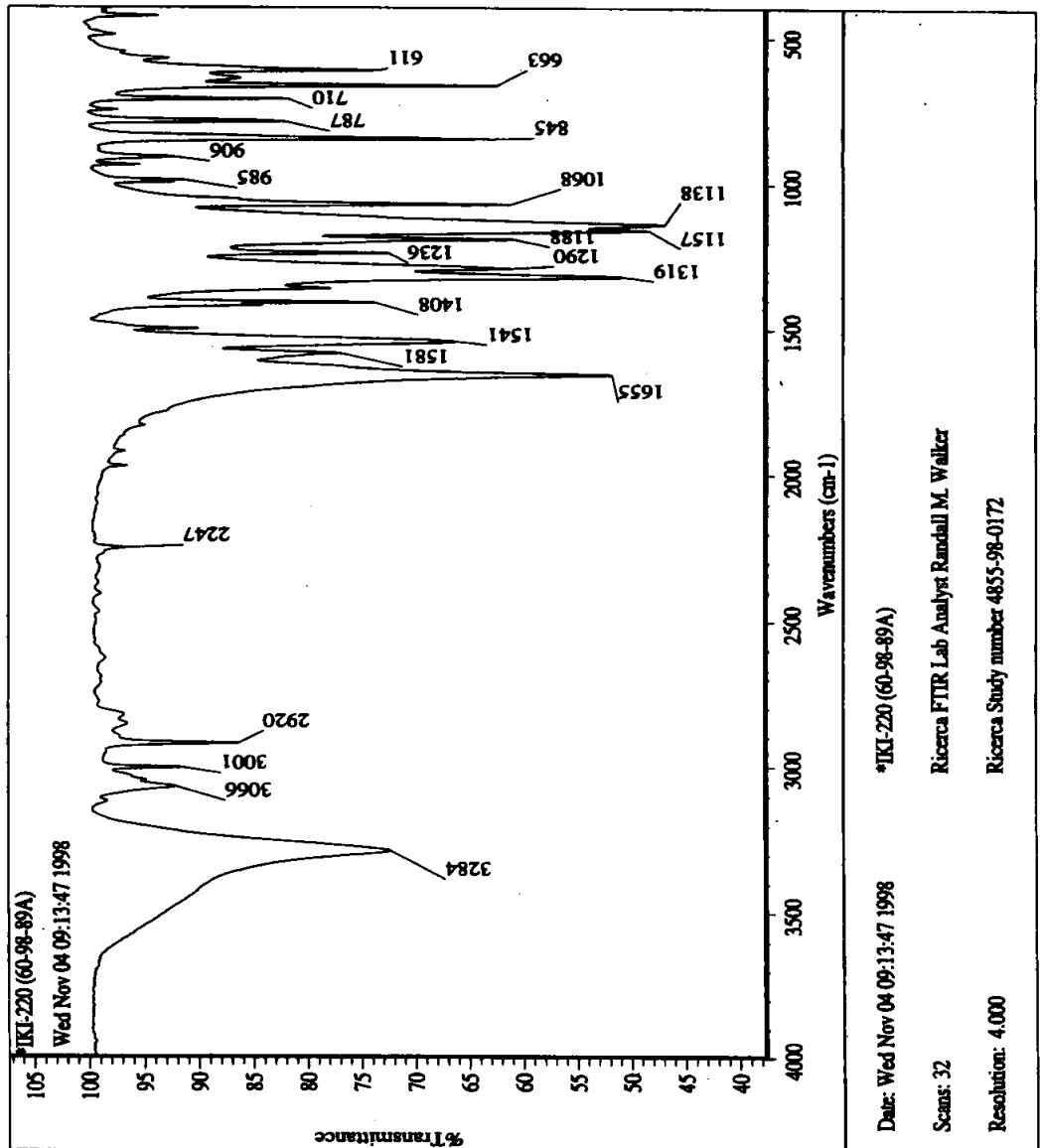
IKI-220 (PAI Lot 9803)

図-3 <sup>13</sup>C-NMR スペクトラム



IKI-220 (PAI Lot 9803)

図-4 IRスペクトラム



*IKI-220 (PAI Lot 9803)*

図-5 UVスペクトラム (中性)

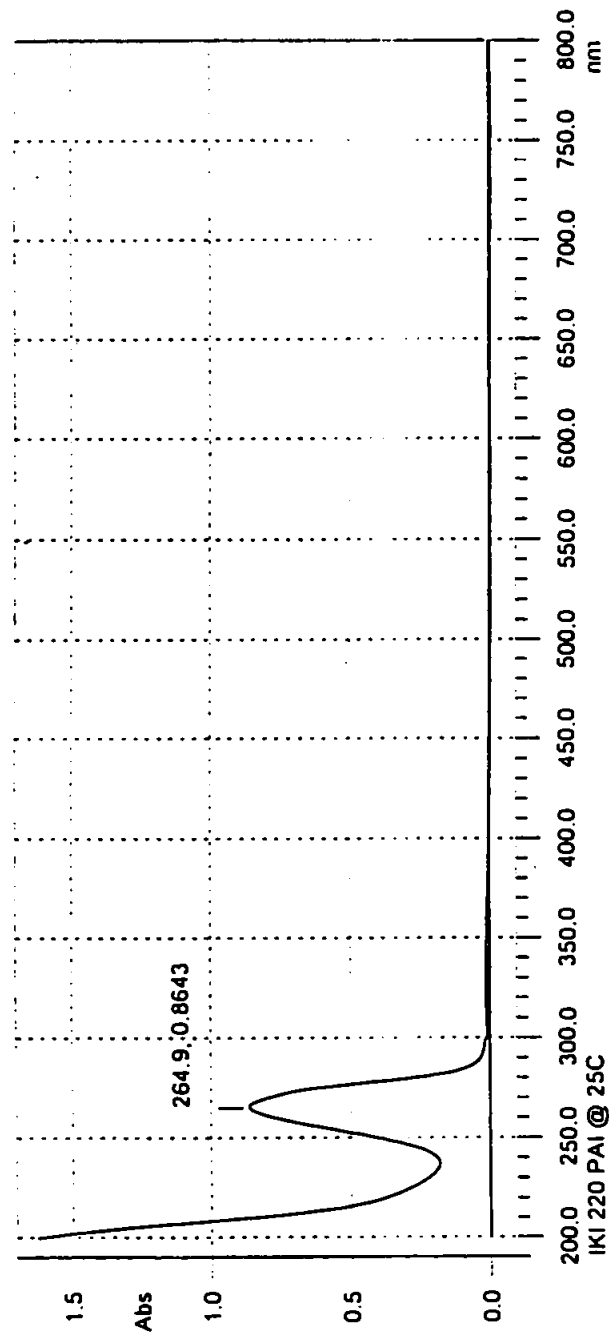
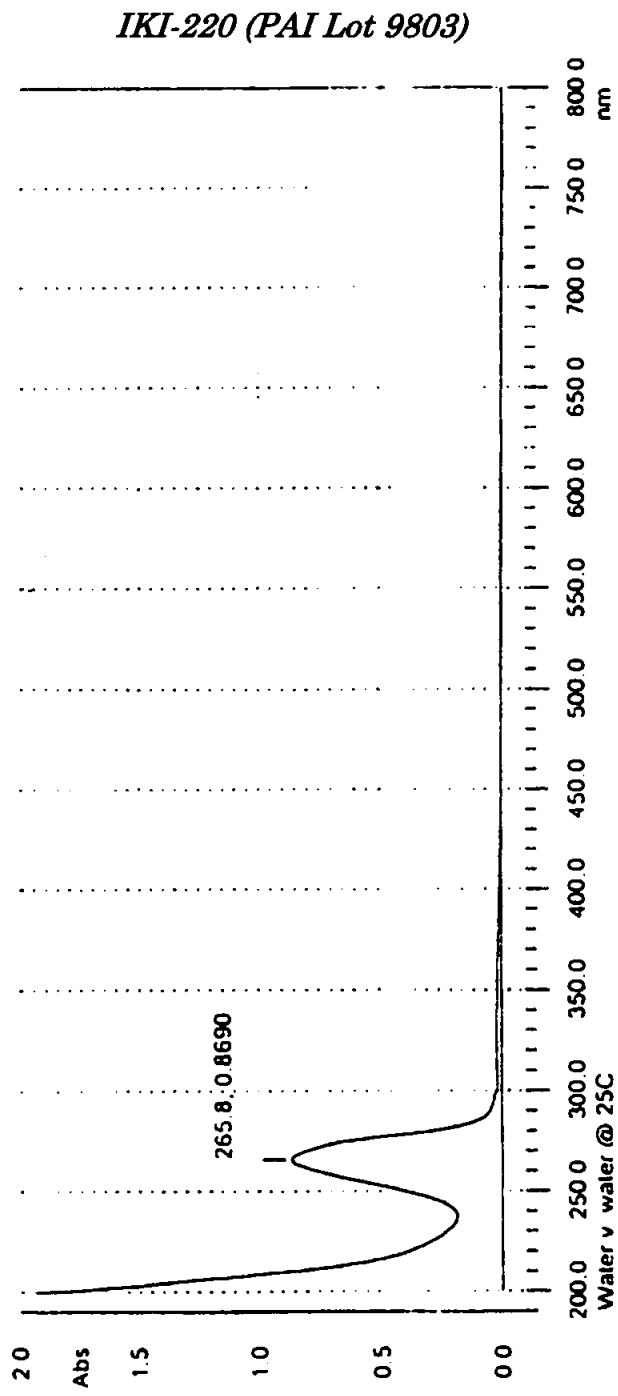


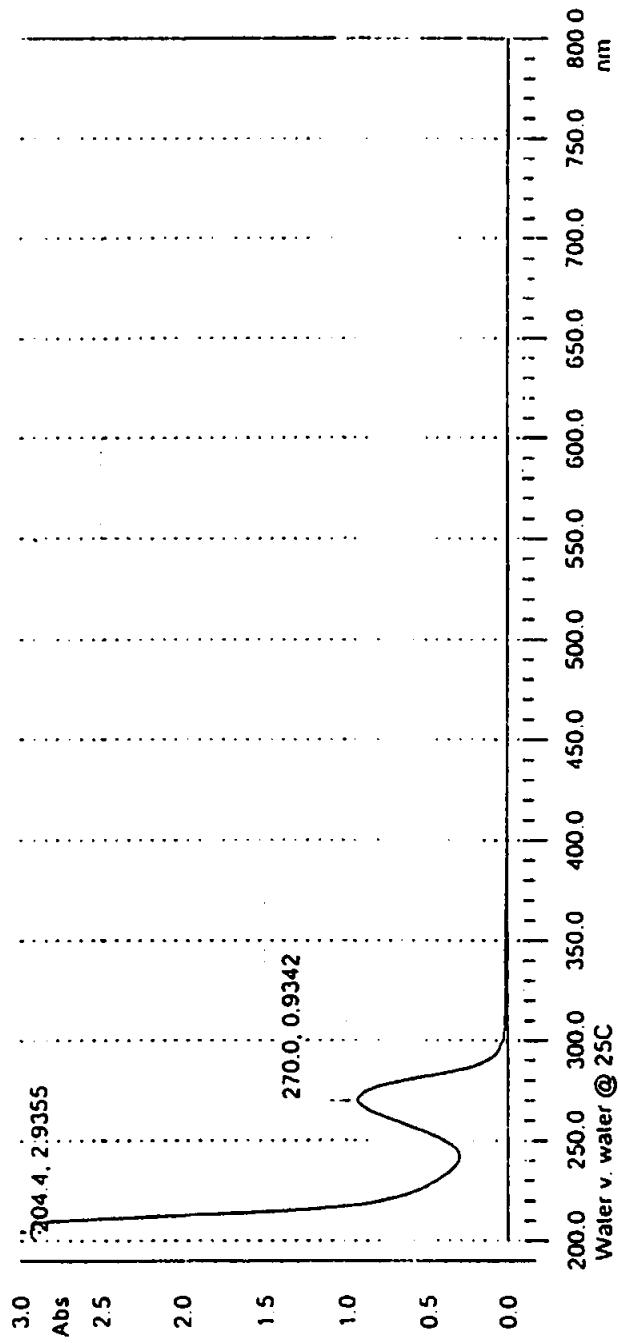
図-6 UV スペクトラム (酸性)





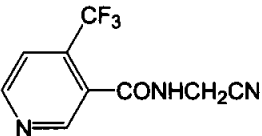
*IKI-220 (PAI Lot 9803)*

図-7 UV スペクトラム (塩基性)



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

2.3 原体の成分組成

区分	名称 構造式	分子式 (分子量)	含有量 (%) 上段：規格値 下段：通常のレンジ
有効成分： (70ニカミド)	<p><i>N</i>-cyanomethyl-4-(trifluoromethyl)nicotinamide</p> 	<p><math>C_9H_6F_3N_3O</math> (229.2)</p>	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

## 2.4 製剤の組成

1) 10%顆粒水和剤	フロニカミド原体	10.0%
	鉍物質微粉、界面活性剤等	90.0%
2) 50%水和剤	フロニカミド原体	50.0%
	鉍物質微粉、界面活性剤等	50.0%
3) 1%粒剤	フロニカミド原体	1.0%
	鉍物質微粉、界面活性剤等	99.0%
4) 14%くん煙剤	フロニカミド原体	14.0%
	発熱剤、界面活性剤等	86.0%

### 3. 生物活性

#### 3.1 活性の範囲

フロニカミドは、吸汁害虫主にアブラムシ類、コナジラミ類、ヨコバイ類等の半翅目害虫、アザミウマ類に特異的に高い活性を持つ殺虫剤であり、優れた浸透移行性を有することから、巻葉中や、新梢に寄生する害虫にも有効である。また、本剤は新規な作用性を持つことから、既存剤の抵抗性害虫にも有効である。日植防委託試験による実用化検討の結果、各種野菜、果樹類、馬鈴薯等でアブラムシ類、オンシツコナジラミ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマに対する実用性が確認された。

社内での検討結果も含め、現在までに効果が認められている主な害虫名を以下に示す。

分類	種名	学名
アブラムシ類	エンドウヒゲナガアブラムシ	<i>Acyrtosiphon pisum</i>
	マメアブラムシ	<i>Aphis craccivora</i>
	ユキヤナギアブラムシ	<i>Aphis citricola</i>
	ダイズアブラムシ	<i>Aphis glycines</i>
	ワタアブラムシ	<i>Aphis gossypii</i>
	ジャガイモヒゲナガアブラムシ	<i>Aulacorthum solani</i>
	ダイコンアブラムシ	<i>Brevicoryne brassicae</i>
	モモコフキアブラムシ	<i>Hyalopterus pruni</i>
	キクヒメヒゲナガアブラムシ	<i>Macrosiphoniella sanborni</i>
	チューリップヒゲナガアブラムシ	<i>Macrosiphum euphorbiae</i>
	ウメコブアブラムシ	<i>Myzus mumecola</i>
	モモアカアブラムシ	<i>Myzus persicae</i>
	ホップイボアブラムシ	<i>Phorodon humuli japonensis</i>
	バラミドリアブラムシ	<i>Rhodobium porosum</i>
	ムギクビレアブラムシ	<i>Rhopalosiphum padi</i>
	ムギミドリアブラムシ	<i>Schizaphis graminum</i>
ナシアブラムシ	<i>Schizaphis piricola</i>	
コナジラミ類	オンシツコナジラミ	<i>Trialeurodes vaporariorum</i>
	タバココナジラミ	<i>Bemisia tabaci</i>
	シルバーリーフコナジラミ	<i>Bemisia argentifoli</i>
ウンカ・ヨコバイ類	チャノミドリヒメヨコバイ	<i>Empoasca onukii</i>
	ツマグロヨコバイ	<i>Nephotettix cincticeps</i>
	セジロウンカ	<i>Sogatella furcifera</i>
アザミウマ類	チャノキイロアザミウマ	<i>Scirtothrips dorsalis</i>
	ミカンキイロアザミウマ	<i>Frankliniella occidentalis</i>
	ネギアザミウマ	<i>Thrips tabaci</i>
	ミナミキイロアザミウマ	<i>Thrips palmi</i>

### 3.2 作用性

フロニカミドは、害虫の吸汁行動を阻害することで、最終的に殺虫効果を発揮する。この吸汁阻害効果は処理直後から発揮されるため、本剤を処理されたアブラムシは速やかに吸汁を止め、被害は進展しない。しかしながら、植物体上から虫が脱落するのに最大数日の期間を要するため、本剤の効果発現は見かけ上は遅効的である。分子レベルでの作用点の特定については、今後の研究を待たねばならないが、*in vitro*での昆虫筋肉組織を用いた実験から、既存の何れの殺虫剤とも異なる作用点を持つことが確認されている。

### 3.3 防除上の利点

フロニカミドは新規な作用性を持つため、抵抗性問題の深刻な場面で、ローテーション防除の一剤として有用である。防除上の特性から言えば、本剤は新梢、新葉への浸透移行性があるため、有翅虫が飛来する条件下や、葉液のかかり難い巻葉中のアブラムシに対しても高い防除効果を示す。一般にアブラムシ類は世代交代が早く、増殖率の高さと、時にウイルスを媒介することもあるため各地で大きな問題となっているが、本剤は、高い殺虫活性、2~3週間の優れた残効性、良好な耐雨性を併せ持ち、本分野の特効剤・基幹防除剤になると考えられる。

また、本剤は作物への葉害は無く、多くの天敵、訪花昆虫等有用生物への影響も認められないことから、近年急速に普及が進む IPM 体系において必要とされるであろう。主対象のアブラムシ類に対しては 25 ppm の低濃度でも十分な防除効果があり、農業投下量の低減にも貢献できうる。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

#### 4. 適用及び使用上の注意

##### 4.1 適用病害虫の範囲及び使用方法

##### 4.1.1 10%顆粒水和剤（ウララ DF）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	70%カミドを含む農薬の総使用回数
りんご	リンゴワムシ	2000倍	200~700 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
なし	アブラムシ類	2000~4000倍		収穫7日前まで			
もも							
うめ	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内		
いちご							コナジラミ類
きゅうり	アブラムシ類	2000~4000倍					2回以内
	コナジラミ類	2000倍					
なす	アブラムシ類	2000~4000倍			2回以内		
	コナジラミ類 ミカンアザミ	2000倍					
メロン	アブラムシ類	2000~4000倍			2回以内		
	コナジラミ類	2000倍					
ばれいしょ	アブラムシ類	2000~4000倍			収穫7日前まで	2回以内	2回以内
茶	チャノミ チャノミ ツグノミ	1000~2000倍			200~400 L/10a	摘採7日前まで	1回
	ミカンアブラムシ	2000倍					
トマト ミニトマト	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内	3回以内	
	コナジラミ類 ミカンアザミ	2000倍					
ぶどう	チャノミ	1000倍	200~700 L/10a	開花前まで	2回以内	2回以内	
ねぎ	ネギアザミ	1000~2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内	3回以内	
すいか	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300 L/10a		2回以内	2回以内	
キャベツ							
はくさい							
小粒核果類 (うめを除く)			200~700 L/10a	収穫7日前まで			
ネクタリン			100~300 L/10a	収穫前日まで			
レタス							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	70カミドを含む農薬の総使用回数	
非結球レタス	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内	
みつば		2000～4000 倍		収穫 3 日前まで 但し、伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで				
えだまめ		2000 倍		100～300 L/10a				収穫 7 日前まで
いんげんまめ								
アスパラガス		アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで		3 回以内	3 回以内
ブロッコリー								
だいこん			100～300 L/10a	2000 倍	収穫 14 日前まで			
カリフラワー								
しそ							4000 倍	収穫 3 日前まで
					2 回以内		2 回以内	
非結球あぶらな科葉菜類	アブラムシ類	4000 倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2 回以内	2 回以内		
ごぼう		2000～4000 倍		収穫 7 日前まで				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

#### 4.1.2 使用上の注意事項

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。散布器具、容器の洗浄水等は河川等に流さないこと。  
周囲に影響のない方法で処理を行ない、空容器（空ビン）は環境に影響のないよう適切に処理すること。
- (2)使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- (3)本剤の使用に当っては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (4)きゅうりに使用する場合、徒長したものでは散布時展開葉の葉縁に薬害を生じることがあるが、その後の展開葉および生育には影響はない。
- (5)非結球あぶらな科葉菜類に使用する場合、低温多湿等の薬液が乾燥しにくい条件下では薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (6)すももでは品種により、葉に薬害が生じる場合があるので注意する。
- (7)つまみ菜、間引き菜には使用しないこと。
- (8)適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 4.1.3 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

#### 4.2.1 50%顆粒水和剤（ウララ 50DF）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロニカトを含む農薬の総使用回数
ばら	アブラムシ類	10000 倍	100～300 L/10a	発生 初期	6 回 以内	散布	6 回 以内
チューリップ		5000～ 10000 倍					
ゆり							
きく	モモアカア ブラムシ	10000 倍					
カーネーション							



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

#### 4.2.2 使用上の注意事項

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。散布器具、容器の洗浄水等は河川等に流さないこと。周囲に影響のない方法で処理を行ない、空容器は環境に影響のないよう適切に処理すること。
- (2)使用量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- (3)本剤の使用に当っては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

4.2.3 水産動植物に有毒な農薬については、その旨  
この登録に係る使用方法では該当がない。

#### 4.3.1 1%粒剤 (ウララ粒剤)

作物名	適用病虫害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	70:30:30を含む農薬の総使用回数
れんこん	クワバエアブラムシ	3 kg/10a	生育期 但し、収穫 14 日前まで	2 回 以内	湛水 散布	2 回以内

#### 4.3.2 使用上の注意事項

- (1)使用量に合わせて秤量し、使い切ること。
- (2)散布後 7 日間は落水、かけ流しはしないこと。
- (3)本剤の使用に当っては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

4.3.3 水産動植物に有毒な農薬については、その旨  
この登録に係る使用方法では該当がない。

#### 4.4.1 14.0%くん煙剤 (ウラらくん煙剤)

作物名	適用場所	適用病虫害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	70:30:30を含む農薬の総使用回数
メロン	温室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	アブラムシ類	くん煙室容積 400 m <sup>3</sup> (床面積 200 m <sup>2</sup> ×高さ 2m) 当り 50g	収穫前日 まで	2 回以内	くん煙	2 回以内

#### 4.4.2 使用上の注意事項

- (1) 温室、ガラス室、ビニールハウス等防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が万べんなく行きわたるようにすること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

- (2) くん煙する場合は、添付の吊具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙すること。  
吊具および電気式点火・くん煙装置は吊り下げるか又は不燃性の台などの上のせて使用すること。なお、植物体、可燃物から離れた中央の安全な場所に設置すること。とくにビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で使用すること。
- (3) 点火は以下のとおりに行なうこと。
  - ① 点火紙を用いる場合  
同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火すること。点火紙を薬剤の上のせて点火すると炎が出るので避けること。  
発煙直後に万一炎が出た場合は直ちに吹き消すこと。  
点火後発煙を確認したら直ちに退出し、くん煙室を密閉すること。
  - ② 電気式点火・くん煙装置を使用する場合  
装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認の上、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通电すること。  
点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置すること。  
発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置すること。
  - ③ 点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らないこと。
- (4) 定植直後又は幼苗、軟弱徒長苗等には薬害を生じるおそれがあるので使用は避けること。
- (5) 高温時のくん煙は薬害を生じるおそれがあるので、日中のくん煙は避け、夕方からくん煙し、翌朝開放すること。
- (6) 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果が出にくいので、使用しないこと。
- (7) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けること。

#### 4.4.3 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

## 5. 農薬残留量

### 5.1 作物残留

#### 5.1.1 分析法の原理と操作概要

・GC/MS法 (フロニカミド、TFNG、TFNA)

磨砕した試料をメタノールで振とう抽出する。ろ過したのち分取、濃縮する。濃縮後多孔性ケイソウ土カラムで精製後、ジアゾメタンを用いてメチルエステル化反応し、フロリジルミニカラムで精製し、GC/MSにより絶対検量線法で定量する。

・LC/MS/MS法 (フロニカミド、TFNG、TFNA)

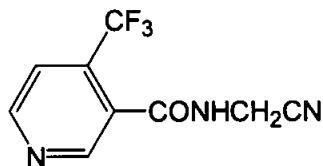
磨砕した試料をメタノールで振とう抽出する。ろ過したのち定容する。抽出液をポリマー系ミニカラムで精製し、LC/MS/MSにより絶対検量線法で定量する。

なお、TFNG(C) 及び、TFNA(E) の分析結果はそれぞれの分析値に換算係数 0.92 (TFNG)、1.20 (TFNA) を乗じた後、四捨五入した値。平均値については換算した分析値を平均して算出した。但し、平成 12 年度のもも、きゅうり、ばれいしょ、なしの社分析については、親換算標準品を用いて分析した結果 (親換算値) をそのまま記載した。また、えだまめ、いんげんまめ、だいこん、ブロッコリー、アスパラガスの平均値については、平均した分析値に換算係数を乗じて算出した。

#### 5.1.2 分析対象の化合物

・フロニカミド (親化合物 A)

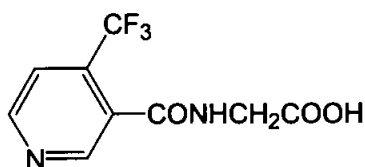
*N*-cyanomethyl-4-trifluoromethylnicotinamide



$C_9H_6N_3OF_3$  分子量：229.2

・TFNG (代謝物 C)

*N*-(4-trifluoromethylnicotinoyl)glycine

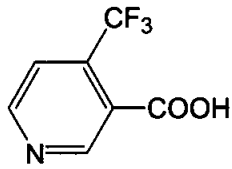


$C_9H_7N_2O_3F_3$  分子量：248.2  
親化合物への換算係数：0.92

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

・ TFNA (代謝物 E)

4-trifluoromethylnicotinic acid



$C_7H_4NO_2F_3$  分子量：191.1

親化合物への換算係数：1.20

5.1.3 残留試験結果

次頁以下に分析結果を示す。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

		果 (ppm)															
		公的分析機関						社内分析機関									
作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	7-カドミウム(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		7-カドミウム(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
もも (露地) (果肉) 平成 12年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	新潟県 農総研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	14	0.28	0.28	0.06	0.06	0.06	0.06	0.15	0.15	0.07	0.07	0.04	0.04	
			3	21	0.25	0.24	0.08	0.07	0.07	0.07	0.16	0.16	0.09	0.08	0.07	0.07	0.07
			3	28	0.31	0.30	0.10	0.09	0.07	0.07	0.20	0.20	0.13	0.12	0.04	0.04	0.04
もも (露地) (果皮) 平成 12年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	福岡県 農総試 豊前	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	14	0.63	0.62	0.10	0.10	0.06	0.05	0.50	0.50	0.15	0.14	0.06	0.06	
			3	21	0.27	0.27	0.08	0.07	0.05	0.05	0.28	0.28	0.12	0.12	0.06	0.06	0.06
			3	28	0.25	0.25	0.07	0.07	0.05	0.05	0.15	0.15	0.09	0.08	0.06	0.06	0.06
もも (露地) (果皮) 平成 12年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	新潟県 農総研	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	14	1.09	1.06	0.17	0.17	0.19	0.19	0.55	0.55	0.18	0.18	0.08	0.08	
			3	21	0.68	0.66	0.18	0.18	0.32	0.31	0.49	0.49	0.22	0.22	0.17	0.17	0.17
			3	28	0.66	0.64	0.21	0.21	0.26	0.26	0.48	0.48	0.30	0.30	0.12	0.12	0.12
もも (露地) (果皮) 平成 12年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	福岡県 農総試 豊前	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	14	1.42	1.40	0.25	0.25	0.17	0.17	0.92	0.92	0.33	0.30	0.10	0.10	
			3	21	0.49	0.48	0.14	0.14	0.22	0.22	0.62	0.62	0.24	0.22	0.15	0.15	0.15
			3	28	0.46	0.46	0.17	0.17	0.18	0.17	0.32	0.32	0.17	0.16	0.13	0.13	0.13

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

		分 析 結 果 (ppm)															
		公的分析機関						社内分析機関									
作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
もも (露地) (果肉) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	長野県 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04
			2	14	0.14	0.01	0.01	<0.02	<0.02	0.16	0.16	0.02	0.02	0.16	0.16	0.17	
		2	28	0.10	0.02	0.02	0.02	0.02	0.08	0.08	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.14	
		2	42	0.10	0.03	0.02	0.02	0.02	0.10	0.10	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.14	
もも (露地) (果皮) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	長野県 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.07	
			2	14	0.60	0.03	0.03	0.03	0.58	0.57	0.06	0.06	0.06	0.06	0.64		
		2	28	0.25	0.04	0.04	0.04	0.24	0.26	0.05	0.05	0.05	0.05	0.32			
		2	42	0.25	0.07	0.07	0.07	0.24	0.23	0.07	0.07	0.07	0.07	0.38			
もも (露地) (果皮) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	新潟県 園芸研	0	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.07	
			2	12	0.65	0.06	0.06	0.06	0.62	0.56	0.06	0.06	0.06	0.06	0.74		
		2	27	0.25	0.06	0.06	0.06	0.24	0.35	0.13	0.12	0.07	0.07	0.42			
		2	40	0.21	0.06	0.06	0.06	0.20	0.17	0.08	0.08	0.06	0.06	0.34			
				合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

		分析結果 (ppm)																	
		公的分析機関						社内分析機関											
作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	70-カド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		70-カド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)				
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
				合計												合計			
きゅうり (施設) (果実) 平成 12年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	岐阜県 植研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03	
			3	1	0.05	0.05	0.04	0.05	0.05	0.05	0.14	0.12	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.21	
			3	3	0.07	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.11	0.10	0.11	0.10	0.10	0.06	0.06	0.06	0.26
			3	7	0.04	0.10	0.09	0.13	0.13	0.13	0.06	0.06	0.17	0.17	0.17	0.13	0.12	0.12	0.35
きゅうり (施設) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	長野県 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03	
			3	1	0.18	0.18	0.09	0.10	0.10	0.10	0.16	0.16	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10	0.35	
			3	3	0.13	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	0.13	0.13	0.10	0.09	0.09	0.11	0.10	0.10	0.32
			3	7	0.06	0.13	0.13	0.22	0.22	0.41	0.06	0.06	0.14	0.13	0.13	0.18	0.17	0.17	0.36
きゅうり (施設) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	長野県 植防	3	14	0.01	0.09	0.09	0.19	0.19	0.29	0.01	0.01	0.11	0.11	0.04	0.04	0.08	0.13	
			3	21	<0.01	0.08	0.07	0.18	0.17	0.25	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.11	
			3	28	<0.01	0.04	0.04	0.07	0.07	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05	0.05	0.05	0.11	
			3	35	<0.01	0.03	0.03	0.05	0.05	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.04	0.09	
きゅうり (施設) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	長野県 植防	3	42	<0.01	0.03	0.03	0.02	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.09	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)															
					公的分析機関								社内分析機関							
					70エカミド <sup>®</sup> (A)		TFNG(C)		TFNA(E)		合計		70エカミド <sup>®</sup> (A)		TFNG(C)		TFNA(E)		合計	
最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
			0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
きゅうり (施設) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	日植 防研 宮崎	3	1	0.14	0.14	0.06	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.10	0.10	0.05	0.05	0.05		
			3	3	0.13	0.12	0.06	0.06	0.12	0.12	0.12	0.12	0.11	0.10	0.08	0.10	0.10	0.10		
			3	7	0.06	0.06	0.10	0.09	0.28	0.26	0.26	0.41	0.05	0.05	0.12	0.18	0.17	0.33		
			3	14	0.02	0.02	0.06	0.06	0.19	0.19	0.27	0.02	0.02	0.08	0.08	0.14	0.14	0.24		
			3	21	<0.01	<0.01	0.06	0.06	0.12	0.12	0.19	0.01	0.01	0.07	0.07	0.10	0.10	0.18		
			3	28	<0.01	<0.01	0.07	0.07	0.12	0.12	0.20	0.01	0.01	0.06	0.06	0.08	0.07	0.14		
			3	35	<0.01	<0.01	0.06	0.06	0.07	0.07	0.14	<0.01	<0.01	0.05	0.04	0.05	0.05	0.10		
			3	42	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.06	0.05	0.10	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.05	0.05	0.10		



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

		分 析 結 果 (ppm)																	
		公的分析機関					社内分析機関												
作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場 調製所	使用回数	経過日数	7020ミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		7020ミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		合計		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値
ばれいしよ (露地) (塊茎) 平成 12年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	日植 防研 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03		
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.03	
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
		広島県 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
					<0.01	<0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03
					<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03
ばれいしよ (露地) (塊茎) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	青森県 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04		
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04	
					<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04
		新潟県 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04
					<0.01	<0.01	0.04	0.05	0.04	0.05	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.10	
					<0.01	<0.01	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.13	
			2	30	<0.01	<0.01	0.06	0.05	0.06	0.05	<0.01	<0.01	0.06	0.06	0.06	0.13			



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)												
					公的分析機関					社内分析機関							
					702カドト(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カドト(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		
最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	合計			
なし (露地) (果実) 平成 12年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	新潟県 農研 園芸	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03	
			3	14	0.06	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.08
			3	21	0.06	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		3	28	0.07	0.01	0.02	0.02	0.02	0.05	0.05	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.07
		0	—	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
		3	14	0.05	0.02	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.06	0.13
	なし (露地) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	徳島県 植防	3	21	0.02	0.01	0.06	0.05	0.06	0.06	0.05	0.06	0.05	0.02	0.02	0.14
				3	28	0.05	0.03	0.11	0.10	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.07
				0	—	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			2	14	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	28	0.03	<0.01	0.02	0.02	0.04	0.02	0.05	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.05
			2	42	0.01	<0.01	0.04	0.04	0.04	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
なし (露地) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	長野県 植防	2	56	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	
			0	—	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	
			2	14	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
		2	28	0.02	<0.01	0.05	0.05	0.05	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.05	
		2	42	0.01	<0.01	0.02	0.05	0.05	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.05	
		2	56	<0.01	<0.01	0.07	0.07	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05	
なし (露地) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	石川県 植防	2	—	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.04	
			2	14	0.04	<0.01	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.10	
			2	28	0.02	<0.01	0.05	0.05	0.05	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.07	
		2	42	0.01	<0.01	0.05	0.05	0.05	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.05		
		2	56	<0.01	<0.01	0.07	0.07	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.07	
		2	—	<0.01	<0.01	0.07	0.07	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.07	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分) 希釈倍数 又は使用方法	試験調製場 場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)																	
					公的分析機関						社内分析機関											
					702カミト(A)			TFNG(C)			TFNA(E)			702カミト(A)			TFNG(C)			TFNA(E)		
					最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値
メロン (露地) (果実) 平成 13年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	石川県 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
			3	1	<0.01	0.01	0.06	0.05	0.07	0.01	0.01	0.06	0.05	0.07	0.01	0.01	0.04	0.04	0.04	0.06		
			3	3	<0.01	0.02	0.06	0.06	0.09	0.02	0.02	0.06	0.06	0.09	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	0.04	0.07	
			3	7	<0.01	0.02	0.08	0.07	0.10	0.02	0.02	0.08	0.07	0.10	0.03	0.03	0.06	0.06	0.06	0.06	0.10	
		愛知県 農試 豊橋	0	—	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			3	1	0.04	0.03	0.14	0.14	0.21	0.01	0.03	0.14	0.14	0.21	0.01	0.01	0.02	0.02	0.10	0.10	0.13	
			3	3	0.03	0.04	0.17	0.17	0.24	0.02	0.04	0.17	0.17	0.24	0.03	0.03	0.08	0.08	0.11	0.11	0.16	
メロン (露地) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	日植 防研 牛久	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
			2	1	0.02	0.02	0.04	0.04	0.07	0.01	0.01	0.04	0.04	0.07	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.06		
			2	7	0.04	0.04	0.10	0.10	0.16	0.02	0.02	0.10	0.10	0.16	0.02	0.02	0.03	0.03	0.07	0.07	0.12	
			2	14	0.05	0.06	0.25	0.25	0.36	0.06	0.06	0.25	0.25	0.36	0.07	0.07	0.07	0.07	0.20	0.20	0.30	
		日植 防研 高知	2	28	0.07	0.06	0.56	0.55	0.74	0.06	0.13	0.56	0.55	0.74	0.15	0.15	0.15	0.15	0.48	0.48	0.69	
			2	42	0.01	0.01	0.42	0.42	0.59	0.02	0.16	0.42	0.42	0.59	0.17	0.17	0.17	0.17	0.36	0.36	0.55	
			2	50	<0.01	<0.01	0.32	0.32	0.38	<0.01	0.05	0.32	0.32	0.38	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	0.36	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度		剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)																			
						公的分析機関						社内分析機関													
						702カドット(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カドット(A)		TFNG(C)		TFNA(E)									
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値								
茶 (露地) (荒茶) 平成 13年度	顆粒水和剤 (10%) 1000倍 散布	神奈川県 農総 津久井	1	1	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04					
						18.0	17.9	2.62	2.61	0.42	0.41	22.7	22.7	3.05	2.95	0.37	0.34	7.13	7.19	2.36	2.29	0.22	0.22		
						5.28	5.10	1.95	1.90	0.28	0.26	7.19	7.19	2.36	2.29	0.22	0.22	2.56	2.67	1.54	1.47	0.16	0.16		
						2.11	2.03	1.27	1.25	0.19	0.19	2.67	2.67	1.54	1.47	0.16	0.16	2.56	2.67	1.54	1.47	0.16	0.16		
茶 (露地) (湯浸出) 平成 13年度	顆粒水和剤 (10%) 1000倍 散布	京都府 茶研	1	1	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04					
						15.0	14.8	1.54	1.53	0.24	0.23	16.9	16.9	1.82	1.82	0.22	0.20	16.7	16.9	1.82	1.82	0.20	0.20		
						4.76	4.59	1.87	1.79	0.24	0.23	7.77	7.77	2.31	2.20	0.20	0.19	7.50	7.50	2.31	2.20	0.19	0.19		
						0.84	0.81	0.96	0.94	0.12	0.12	1.90	1.90	1.06	0.99	0.11	0.10	1.87	1.87	1.06	0.99	0.10	0.10		
茶 (露地) (湯浸出) 平成 13年度	顆粒水和剤 (10%) 1000倍 散布	神奈川県 農総 津久井	1	1	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
茶 (露地) (湯浸出) 平成 13年度	顆粒水和剤 (10%) 1000倍 散布	京都府 茶研	1	1	21	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04					
						14.4	14.4	—	—	—	—	14.4	14.4	1.76	1.66	0.19	0.19	14.4	14.4	1.76	1.66	0.19	0.19		
						6.98	6.90	—	—	—	—	6.98	6.90	2.22	2.13	0.23	0.22	6.90	6.90	2.22	2.13	0.22	0.22		
						1.55	1.50	—	—	—	—	1.55	1.50	1.01	0.99	0.10	0.10	1.50	1.50	1.01	0.99	0.10	0.10		
合計	合計	合計	0	1	21	<0.2	<0.2	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.2	<0.2	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05					
						20.9	20.9	0.41	0.41	0.23	0.23	20.9	20.9	3.05	2.95	0.37	0.34	22.2	22.2	3.05	2.95	0.37	0.34		
						7.3	7.3	0.26	0.26	0.23	0.23	7.3	7.3	2.36	2.29	0.22	0.22	7.13	7.19	2.36	2.29	0.22	0.22		
						3.5	3.5	0.19	0.19	0.12	0.12	3.5	3.5	1.54	1.47	0.16	0.16	2.56	2.67	1.54	1.47	0.16	0.16		



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料 調製 場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)																		
					公的分析機関						社内分析機関												
					7020カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		7020カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)								
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値							
りんご (露地) (果実) 平成 13年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	北海道 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04		
			2	14	0.09	0.09	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.07	0.07	0.02	0.02	0.12	0.10	
			2	21	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.09
			2	28	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.12	0.12	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.12	0.12	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.15
		茨城県 農総 センター	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04	<0.04
			2	14	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.05	0.05	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.07
			2	21	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.09	0.09	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.08
			2	28	0.03	0.03	<0.01	<0.01	0.05	0.05	0.09	0.09	<0.01	<0.01	0.05	0.05	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.09
りんご (露地) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	日植 防研 秋田	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04	<0.04	
			2	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.36	0.36	0.02	0.02	0.40	0.40
			2	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.28	0.28	0.03	0.03	0.35	0.35
			2	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.13	0.12	0.02	0.02	0.18	0.18
		長野県 植防	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04	<0.04
			2	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.10	0.10
			2	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.09	0.08	0.01	0.01	0.11	0.11	
			2	42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05	0.05	0.01	0.01	0.10	0.10	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

		分析結果 (ppm)																
		公的分析機関						社内分析機関										
作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	70-カボット(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		70-カボット(A)		TFNG(C)		TFNA(E)			
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
なす (施設) (果実) 平成 13年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	愛知県 農総試 弥富	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04	
			2	1	0.22	0.22	0.10	0.10	0.02	0.02	0.17	0.16	0.10	0.10	0.02	0.02	0.34	0.28
			2	3	0.17	0.16	0.15	0.15	0.05	0.05	0.10	0.10	0.17	0.17	0.05	0.05	0.36	0.32
			2	7	0.05	0.05	0.29	0.28	0.08	0.08	0.04	0.04	0.23	0.23	0.08	0.07	0.41	0.34
		日植 防研 高知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04
			2	1	0.17	0.17	0.06	0.06	0.02	0.02	0.13	0.12	0.06	0.06	0.02	0.02	0.25	0.20
			2	3	0.14	0.14	0.07	0.07	0.05	0.05	0.16	0.16	0.09	0.09	0.04	0.04	0.26	0.29
			2	7	0.02	0.02	0.15	0.15	0.07	0.07	0.09	0.09	0.13	0.12	0.06	0.05	0.24	0.26
なす (施設) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	日植 防研 高知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04	
			3	1	0.18	0.18	0.34	0.33	0.25	0.25	0.19	0.18	0.31	0.31	0.16	0.16	0.76	0.65
			3	3	0.10	0.10	0.27	0.27	0.17	0.17	0.12	0.12	0.36	0.36	0.14	0.14	0.54	0.62
			3	7	0.05	0.04	0.38	0.37	0.20	0.19	0.05	0.05	0.60	0.59	0.16	0.16	0.60	0.80
		日植 防研 高知	3	14	0.01	0.01	0.61	0.61	0.34	0.34	0.01	0.01	0.55	0.54	0.18	0.18	0.96	0.73
			3	21	0.01	0.01	0.52	0.52	0.23	0.22	0.01	0.01	0.46	0.46	0.16	0.16	0.75	0.63
			3	28	<0.01	<0.01	0.31	0.31	0.13	0.12	<0.01	<0.01	0.39	0.38	0.12	0.12	0.44	0.51
			3	35	<0.01	<0.01	0.18	0.18	0.10	0.10	<0.01	<0.01	0.17	0.17	0.06	0.06	0.29	0.24
3	42	<0.01	<0.01	0.13	0.13	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.13	0.13	0.04	0.04	0.21	0.18			





本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料 調製 場所	使用回数	経過日数	分 析 結 果 (ppm)																			
					公的分析機関						社内分析機関													
					7020カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		7020カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)									
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値								
いちご (露地) (果実) 平成 13年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 散布	群馬県 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
			2	1	0.09	0.09	0.01	0.01	0.04	0.04	0.16	0.16	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05		
			2	3	0.08	0.08	0.02	0.02	0.07	0.07	0.08	0.08	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05	0.15	
			2	7	0.04	0.04	0.03	0.03	0.05	0.05	0.08	0.08	0.03	0.03	0.04	0.04	0.06	0.06	0.04	0.04	0.06	0.06	0.18	
		岐阜県 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			2	1	0.37	0.36	0.01	0.01	0.04	0.04	0.34	0.32	0.04	0.04	0.34	0.32	0.05	0.05	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.39
			2	3	0.28	0.28	0.03	0.02	0.07	0.07	0.46	0.45	0.07	0.07	0.46	0.45	0.06	0.06	0.03	0.02	0.06	0.06	0.06	0.53
			2	7	0.24	0.24	0.04	0.04	0.12	0.12	0.25	0.24	0.12	0.12	0.25	0.24	0.10	0.10	0.04	0.04	0.10	0.10	0.06	0.38





本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度		剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)																	
						公的分析機関									社内分析機関								
						702カミド(A)			TFNG(C)			TFNA(E)			702カミド(A)			TFNG(C)			TFNA(E)		
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
はくさい (露地) (茎葉) 平成 18年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 250L/10a 茎葉散布	日植防 牛久	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04			
			1	0.67	0.66	0.06	0.06	<0.02	<0.02	0.45	0.45	0.10	0.09	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.74			
			2	0.23	0.22	0.06	0.06	0.02	0.02	0.28	0.28	0.08	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.30			
			3	0.27	0.26	0.13	0.13	0.05	0.05	0.31	0.31	0.32	0.32	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.44			
			7	0.17	0.17	0.20	0.20	0.08	0.08	0.18	0.18	0.30	0.29	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.45			
	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a 茎葉散布	長野 植防 南信	0	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04		
			1	0.13	0.13	0.05	0.05	0.02	0.02	0.12	0.12	0.05	0.04	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	0.04	0.20			
			2	0.11	0.11	0.06	0.06	0.04	0.04	0.08	0.08	0.08	0.08	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.21			
			3	0.04	0.04	0.07	0.07	0.04	0.04	0.07	0.07	0.12	0.11	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.15			
			7	0.06	0.06	0.11	0.11	0.06	0.06	0.02	0.02	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.23			
合計																							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)																							
					公的分析機関								社内分析機関															
					702カミド (A)				TFNG(C)				TFNA(E)				702カミド (A)				TFNG(C)				TFNA(E)			
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	合計			
キヤベツ (露地) (葉球) 平成 18年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a 莖葉散布	岩手 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.04							
			2	1	0.08	0.08	0.02	0.02	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.09	0.08	0.03	0.02	0.02	0.02	<0.02	0.12							
			2	3	0.08	0.08	0.05	0.04	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05	<0.02	<0.02	0.14						
		2	7	0.01	0.01	0.04	0.04	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.07	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	0.04	<0.02	0.07							
		2	14	<0.01	<0.01	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	0.06							
		0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.04							
		2	1	0.17	0.17	0.12	0.11	0.06	0.06	0.06	0.34	0.27	0.25	0.16	0.15	0.16	0.15	0.15	0.07	0.07	0.34							
2	3	0.05	0.05	0.13	0.13	0.07	0.07	0.25	0.25	0.13	0.12	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.10	0.10	0.25									
2	7	0.05	0.05	0.23	0.23	0.16	0.16	0.44	0.44	0.02	0.02	0.24	0.23	0.24	0.23	0.23	0.16	0.16	0.44									
2	14	<0.01	<0.01	0.18	0.18	0.16	0.14	0.33	0.33	<0.01	<0.01	0.23	0.22	0.23	0.22	0.22	0.20	0.20	0.33									
合計																												

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

		分 析 結 果 (ppm)															
		公的分析機関						社内分析機関									
作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料製 調製 場所	使用回 回数	経過日 数	702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
ねぎ (露地) (茎葉) 平成 18年度	粒剤(1%) 6kg/10a 植溝土壌混和 1回 +	新潟 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04
			4	1	0.96	0.96	0.04	0.04	0.04	0.04	0.49	0.48	0.02	0.02	0.02	0.02	0.52
			4	3	0.78	0.78	0.06	0.06	0.06	0.06	0.44	0.44	0.03	0.03	0.04	0.04	0.51
			4	7	0.39	0.38	0.06	0.06	0.05	0.05	0.24	0.24	0.04	0.04	0.03	0.03	0.31
			4	14	0.04	0.04	0.04	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
	顆粒水和剤 (10%) 1000倍 200L/10a 茎葉散布 3回	滋賀 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04
			4	1	0.58	0.57	0.02	0.02	0.42	0.42	0.35	0.34	0.02	0.02	0.28	0.29	0.64
			4	3	0.34	0.34	0.04	0.04	0.60	0.60	0.31	0.30	0.03	0.03	0.42	0.42	0.75
			4	7	0.10	0.10	0.03	0.03	0.53	0.53	0.14	0.13	0.02	0.02	0.46	0.50	0.61
			4	14	0.07	0.07	0.04	0.04	0.42	0.42	0.03	0.03	0.03	0.03	0.36	0.37	0.42
				合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計	









本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度		剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)													
						公的分析機関					社内分析機関								
						707ガット(A)		TFNG(C)		TFNA(E)	707ガット(A)		TFNG(C)		TFNA(E)	合計			
						最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
ネクターリン (露地) (果実) 平成 18年度	日植防 山梨	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a 茎葉散布	日植防 山梨	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
				2	7	0.31	0.31	0.07	0.31	0.06	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.42	
				2	14	0.13	0.12	0.05	0.12	0.05	0.12	0.05	0.05	0.05	0.05	0.07	0.05	0.05	0.24
				2	21	0.12	0.12	0.06	0.12	0.06	0.12	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.23
				2	28	0.08	0.08	0.06	0.08	0.06	0.08	0.06	0.06	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	0.21
				2	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
長野 植防 須坂	長野 植防 須坂	長野 植防 須坂	0	7	0.14	0.14	0.03	0.14	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.19		
			2	14	0.15	0.15	0.05	0.15	0.04	0.05	0.04	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.21		
			2	21	0.08	0.08	0.04	0.08	0.04	0.08	0.04	0.04	0.04	0.06	0.05	0.05	0.17		
			2	28	0.09	0.09	0.04	0.09	0.04	0.09	0.04	0.04	0.04	0.06	0.06	0.06	0.19		
			2	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.06
			2	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.06

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

		分 析 結 果 (ppm)																
		公的分析機関						社内分析機関										
作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)			
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
すもも (露地) (果実) 平成 18年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 500L/10a 茎葉散布	福島 植防	0	—								<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.04	
			2	7								0.05	0.04	<0.01	<0.01	0.02	0.07	
			2	14								0.03	0.02	<0.01	<0.01	0.04	0.07	
			2	21								0.04	0.04	0.01	0.01	0.02	0.07	
			2	28								0.01	0.01	0.01	0.01	0.07	0.09	
	長野 植防 須坂			0	—								<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04
				2	7								<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04
				2	14								<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.04
				2	21								0.02	0.02	0.01	0.01	0.05	0.08
				2	28								0.03	0.02	0.01	0.01	0.04	0.05

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

		分 析 結 果 (ppm)																										
作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試 調 場 製 所	使 用 回 数	経 過 日 数	公的分析機関								社内分析機関															
					7エカミト(A)				TFNG(C)				TFNA(E)				7エカミト(A)				TFNG(C)				TFNA(E)			
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
					合計																							
ぶどう (施設) (果実) 平成 15年度	顆粒水和剤 (10%) 1000倍 300L/10a 散布	岩手 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04				
			2	14	1.08	1.07	0.20	0.20	0.30	0.29	0.20	0.29	0.30	0.20	0.29	0.30	0.20	0.29	0.30	0.20	0.29	0.30	0.20	0.29	0.30	0.23		
			2	28	0.70	0.70	0.25	0.24	0.41	0.41	0.24	0.41	0.41	0.24	0.41	0.41	0.24	0.41	0.41	0.24	0.41	0.41	0.24	0.41	0.41	0.24	0.38	
			2	42	0.51	0.51	0.33	0.33	0.54	0.53	0.33	0.53	0.54	0.33	0.53	0.54	0.33	0.53	0.54	0.33	0.53	0.54	0.33	0.53	0.54	0.33	0.34	
			2	56	0.54	0.54	0.35	0.35	0.42	0.41	0.35	0.41	0.42	0.41	0.35	0.41	0.42	0.41	0.35	0.41	0.42	0.41	0.35	0.41	0.42	0.41	0.34	
			2	56	0.54	0.54	0.35	0.35	0.42	0.41	0.35	0.41	0.42	0.41	0.35	0.41	0.42	0.41	0.35	0.41	0.42	0.41	0.35	0.41	0.42	0.41	0.34	
			0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04			
			2	14	0.91	0.91	0.36	0.36	0.12	0.12	0.12	0.12	0.36	0.36	0.12	0.12	0.12	0.36	0.36	0.12	0.12	0.12	0.36	0.36	0.23			
			2	28	0.78	0.78	0.71	0.70	0.20	0.19	0.20	0.19	0.70	0.70	0.20	0.19	0.20	0.19	0.70	0.70	0.20	0.19	0.20	0.19	0.38			
			2	42	0.57	0.56	0.78	0.77	0.20	0.19	0.20	0.19	0.77	0.77	0.20	0.19	0.20	0.19	0.77	0.77	0.20	0.19	0.20	0.19	0.34			
			2	56	0.28	0.28	0.98	0.95	0.13	0.12	0.13	0.12	0.95	0.95	0.13	0.12	0.13	0.12	0.95	0.95	0.13	0.12	0.13	0.12	1.05			
			2	56	0.28	0.28	0.98	0.95	0.13	0.12	0.13	0.12	0.95	0.95	0.13	0.12	0.13	0.12	0.95	0.95	0.13	0.12	0.13	0.12	1.20			
																									1.19			
																										1.48		
																										1.14		
																										1.41		



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)														
					公的分析機関						社内分析機関								
					702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)				
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
サラダ菜 (施設) (茎葉) 平成 18年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 150L/10a 散布	愛知 農総試	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04						
			2	1	1.02	1.00	0.12	0.12	0.13	0.12	0.13	0.12	0.12	1.24					
			2	3	1.05	1.02	0.07	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	1.15					
			2	7	0.54	0.53	0.14	0.14	0.20	0.14	0.20	0.19	0.86						
			2	14	0.04	0.04	0.04	0.04	0.22	0.04	0.22	0.22	0.30						
		顆粒水和剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布	三重 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04					
				2	1	2.21	2.12	0.06	0.06	0.02	0.06	0.02	0.02	2.20					
				2	3	2.58	2.58	0.17	0.16	0.04	0.16	0.04	0.04	2.78					
				2	7	0.35	0.35	0.08	0.08	0.05	0.08	0.05	0.05	0.48					
				2	14	1.51	1.46	0.20	0.20	0.05	0.20	0.05	0.05	1.71					
合計																			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)																					
					公的分析機関						社内分析機関															
					70ニカミト(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		70ニカミト(A)		TFNG(C)		TFNA(E)											
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値										
リーフ レタス (露地) (茎葉) 平成 18年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布	長野 植防 南信	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04												
			2	1	7.48	7.40	0.17	0.16	0.08	0.16	0.08	0.10	0.08	0.08	7.64											
			2	3	3.73	3.68	0.17	0.16	0.10	0.16	0.10	0.10	0.10	0.10	3.94											
			2	7	0.78	0.78	0.11	0.11	0.08	0.11	0.08	0.08	0.08	0.08	0.97											
			2	14	0.36	0.36	0.14	0.13	0.14	0.13	0.14	0.14	0.14	0.14	0.63											
			0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04											
リーフ レタス (露地) (茎葉) 平成 18年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a 散布	奈良 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04													
			2	1	5.84	5.78	0.41	0.40	0.12	0.40	0.12	0.12	0.12	6.30												
			2	3	3.96	3.94	0.47	0.46	0.18	0.46	0.18	0.18	0.18	4.58												
			2	7	0.38	0.38	0.31	0.30	0.12	0.30	0.12	0.12	0.12	0.80												
			2	14	0.01	0.01	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.13												
			0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04												



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

		分 析 結 果 (ppm)															
		公的分析機関						社内分析機関									
作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
みつば (施設) (可食部) 平成 19年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a 散布	大分 農研 センター 安農研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
			2	3	0.20	0.20	0.06	0.06	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.35
			2	7	1.75	1.74	0.65	0.63	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	2.71
			2	14	0.98	0.98	0.66	0.64	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	1.92
	大分県 豊肥振 興局	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
		2	3	0.92	0.92	0.08	0.08	0.15	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	1.14	
		2	7	1.23	1.22	0.16	0.16	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	1.59	
		2	14	0.16	0.16	0.07	0.07	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.32	
				合計		合計		合計		合計		合計		合計		合計	





本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料調製場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)																		
					公的分析機関						社内分析機関						合計						
					70カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		70カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)								
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値							
だいこん (露地) (根部) 平成 20年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 150,200L/10a 散布	日植 防研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.04	
			2	1	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04	
			2	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04
			2	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.04	0.04	0.06	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	0.06
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.05	0.05	0.07	0.07	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	0.08
			2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.04	0.04	0.06	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	0.06
			2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.04	0.04	0.06	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04
			2	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.04	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04
			2	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.04	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.04
			2	49	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.04	0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.04
	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布	福井 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.04	
			2	1	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04	
			2	3	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.02	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.02	0.05	
			2	7	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04	
			2	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04	
			2	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.07	0.09	0.09	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	0.08	
			2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.06	0.08	0.08	0.08	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	0.10	
			2	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04	
			2	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04	
			2	49	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.04	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)																			
					公的分析機関						社内分析機関													
					702カント(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カント(A)		TFNG(C)		TFNA(E)									
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値								
だいこん (露地) (葉部) 平成 20年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 150,200L/10a 散布	日植 防研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.06	<0.16		
			2	1	1.96	1.94	0.10	0.10	0.08	0.08	0.08	0.08	0.10	0.10	2.12	2.08	2.02	0.10	0.10	0.11	0.11	0.10	0.10	2.22
			2	3	1.09	1.08	0.13	0.13	0.11	0.11	0.19	0.19	0.13	0.13	1.32	1.38	1.36	0.11	0.11	0.11	0.11	0.13	0.13	1.60
			2	7	0.34	0.33	0.08	0.08	0.19	0.19	0.23	0.23	0.08	0.08	0.60	0.30	0.30	0.06	0.06	0.06	0.06	0.19	0.19	0.55
			2	14	0.03	0.03	0.04	0.04	0.23	0.23	0.20	0.20	0.04	0.04	0.30	0.09	0.09	0.05	0.05	0.05	0.05	0.20	0.20	0.34
			2	21	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.20	0.20	0.18	0.17	<0.01	<0.01	0.22	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.23	0.23	0.33
			2	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.18	0.17	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.19	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.19	0.19	0.19	0.29
			2	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05	0.05	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.07	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.06	<0.16
			2	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05	0.05	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.07	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.06	<0.16
			2	49	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.06	<0.16
だいこん (露地) (葉部) 平成 20年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布	福井 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.06	<0.16		
			2	1	1.22	1.22	0.04	0.04	<0.02	<0.02	0.04	0.04	1.28	1.05	1.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.06	1.15	
			2	3	1.06	1.04	0.06	0.05	0.02	0.02	0.06	0.06	1.11	0.99	0.98	0.06	0.05	0.05	0.05	<0.06	<0.06	<0.06	1.09	
			2	7	0.36	0.36	0.07	0.06	0.02	0.02	0.02	0.02	0.44	0.42	0.41	0.08	0.08	0.08	0.08	<0.06	<0.06	<0.06	0.55	
			2	14	0.16	0.16	0.09	0.08	0.06	0.06	0.06	0.06	0.30	0.24	0.24	0.10	0.10	0.10	0.10	0.07	0.07	0.07	0.41	
			2	21	0.04	0.04	0.03	0.03	0.14	0.14	0.14	0.14	0.21	0.06	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.20	0.20	0.20	0.31	
			2	28	0.03	0.03	0.02	0.02	0.14	0.14	0.14	0.14	0.19	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.15	0.15	0.15	0.25	
			2	35	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.04	0.04	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.06	<0.16	
			2	42	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.04	0.04	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.06	<0.16	
			2	49	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.06	<0.16	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剂型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)														
					公的分析機関						社内分析機関								
					702カブト (A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カブト (A)		TFNG(C)		TFNA(E)				
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
ブロッコリー (露地) (花蕾 葉を除去) 平成 19年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a 散布	群馬 植防	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			2	1	1.04	1.04	0.29	0.29	0.01	0.01	0.95	0.94	0.22	0.22	0.01	0.01	0.01	0.01	1.17
			2	3	0.74	0.73	0.33	0.33	0.01	0.01	0.86	0.84	0.26	0.26	0.01	0.01	0.01	0.01	1.11
			2	7	0.60	0.58	0.33	0.33	0.02	0.02	0.46	0.44	0.30	0.30	0.03	0.03	0.02	0.02	0.76
			2	14	0.38	0.38	0.55	0.55	0.06	0.06	0.20	0.18	0.37	0.35	0.04	0.04	0.04	0.04	0.57
			0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03	
			2	1	1.32	1.30	0.18	0.18	0.05	0.05	1.05	1.04	0.21	0.20	0.06	0.06	0.06	1.30	
			2	3	0.82	0.82	0.29	0.29	0.08	0.08	0.73	0.70	0.16	0.16	0.05	0.05	0.05	0.91	
			2	7	0.56	0.56	0.31	0.31	0.11	0.10	0.64	0.62	0.38	0.37	0.17	0.17	0.17	1.16	
			2	14	0.09	0.09	0.51	0.49	0.30	0.3	0.08	0.08	0.48	0.48	0.32	0.30	0.30	0.86	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度		剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)											
						公的分析機関						社内分析機関					
						70-カミド (A)		TFNG(C)		TFNA(E)		70-カミド (A)		TFNG(C)		TFNA(E)	
最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値				
アスパラ ガス (施設) (若葉) 平成 20年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 200L/10a 散布	北海道 植防	0	3	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01			
						0.09	0.08	0.30	0.29	0.30	0.29	0.12	0.12				
						0.03	0.03	0.22	0.22	0.22	0.29	0.09	0.09				
						<0.01	<0.01	0.30	0.29	0.30	0.08	0.08	0.38				
						<0.01	<0.01	0.12	0.11	0.12	0.05	0.05	0.17				
アスパラ ガス (施設) (若葉) 平成 20年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a 散布	香川 農試 三木	0	3	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				
						0.05	0.05	0.35	0.35	0.35	0.05	0.05	0.45				
						0.02	0.02	0.51	0.48	0.51	0.09	0.08	0.58				
						<0.01	<0.01	0.76	0.75	0.76	0.17	0.17	0.93				
						<0.01	<0.01	0.69	0.66	0.69	0.22	0.21	0.88				











本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

【参考】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用方法	試調場 製所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)	
					最高値	平均値
みつば (施設) (可食部) 平成 19年度	顆粒水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a 散布	大分 農研 センター 安農研	0	—		
			2	3		
			2	7		
			2	14		
	大分県 豊肥振 興局	0	—			
		2	3			
		2	7			
		2	14			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剂型 (有効成分) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試調場	使用回数	経過日数	分 析 結 果 (ppm)															
					公的分析機関						社内分析機関									
					702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カミド(A)		TFNG(C)		TFNA(E)					
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値				
しそ (施設) (葉) 平成 20年度	顆粒水和剤 (10%) 4000倍 300 L/10a 散布	愛知	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03						
			2	3	6.05	5.97	0.47	0.46	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	6.49					
			2	7	3.20	3.10	0.59	0.57	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	3.73					
			2	14	0.48	0.46	0.25	0.24	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.74					
		顆粒水和剤 (10%) 4000倍 300 L/10a 散布	大分県 中部振 興局	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.33						
				2	3	2.96	2.95	0.42	0.42	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	3.55					
				2	7	2.64	2.46	0.63	0.59	0.23	0.20	0.20	0.20	0.20	3.25					
				2	14	0.21	0.20	0.12	0.11	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.47					



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度		剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試験場所	使用回数	経過日数	分析結果 (ppm)											
						公的分析機関						社内分析機関					
						702カミド (A)		TFNG(C)		TFNA(E)		702カミド (A)		TFNG(C)		TFNA(E)	
最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	合計			
みずな (施設) (茎葉) 平成 21年度	顆粒水和剤 (10%) 4000倍 194L/10a 散布	日植防 研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03		
			2	1	1.88	1.84	0.05	0.05	0.05	1.84	0.05	0.05	<0.01	<0.01	1.90		
			2	3	1.16	1.14	0.06	0.06	0.06	1.14	0.06	0.06	0.01	0.01	1.21		
			2	7	0.77	0.75	0.11	0.11	0.11	0.75	0.11	0.11	0.02	0.02	0.88		
			2	14	0.23	0.22	0.06	0.06	0.06	0.22	0.06	0.06	0.02	0.02	0.30		
のざわな (露地) (茎葉) 平成 21 年度	顆粒水和剤 (10%) 4000倍 198L/10a 散布	日植防 研	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03		
			2	1	1.16	1.13	0.24	0.24	0.24	1.13	0.24	0.08	0.08	1.45			
			2	3	1.14	1.12	0.52	0.51	0.51	1.12	0.51	0.13	0.13	1.76			
			2	7	0.70	0.70	0.67	0.66	0.66	0.70	0.67	0.26	0.25	1.61			
			2	14	0.33	0.32	0.70	0.70	0.70	0.32	0.70	0.37	0.37	1.39			
のざわな (露地) (茎葉) 平成 21 年度	顆粒水和剤 (10%) 4000倍 180L/10a 散布	日植防 研山梨	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.04			
			2	1	0.49	0.48	0.04	0.04	0.04	0.48	0.04	0.02	0.02	0.54			
			2	3	0.25	0.24	0.05	0.05	0.05	0.24	0.05	0.02	0.02	0.31			
			2	7	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.02	0.02	0.14			
			2	14	<0.01	<0.01	0.04	0.04	0.04	<0.01	0.04	0.02	0.02	0.07	0.07		





























## 5.2 土壌残留

### 5.2.1 分析法の原理と操作概要

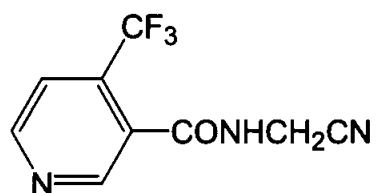
#### ・LC/MS/MS 法

試料にメタノール-水-リン酸を加えて、振とう抽出する。抽出液の一部をフィルターでろ過し、水で希釈後、固相抽出カラム (OASIS HLB)を用いて精製を行い、液体クロマトグラフ/質量分析装置により定量する。定量限界は 0.01ppm。

### 5.2.2 分析対象の化合物

#### ・フロニカミド (親化合物 A)

*N*-cyanomethyl-4-(trifluoromethyl)nicotinamide



分子量 : 229.2

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

### 5.2.3 残留試験結果

#### 5.2.3.1 容器内試験 (畑地状態)

フロニカミド純品を供試土壤に 12 µg/40g 土壤 (乾土当たり 0.3 ppm)の割合で添加し、その消長を調査した。試料の調製及び分析は石原産業株式会社中央研究所で行った。分析は 2 連で実施した。

供試土壤	推定半減期	
	親化合物	親化合物+代謝物
日本植物防疫協会研究所 火山灰淡色黒ボク土軽埴土	1.2 日	2.0 日
日本植物防疫協会研究所高知試験場 沖積灰色低地土埴壤土	0.8 日	1.3 日

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

分析機関：石原産業株式会社中央研究所

No.	試料調製 及び 採取場所	被験物質の 処理方法		経過 日数	測定値 (mg/kg)																
		濃度・量	回数		7n-カミド (A)			1			2			合計							
					最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値						
1	日本植物 防疫協会 研究所  火山灰 淡色黒ボク土 軽植土 畑地 平成 12 年度	純品 0.3 mg/kg 25℃	1	0	<0.01	<0.01	<0.01														
				1	0.30	0.28	0.31														
				1	0.33	0.31	0.30														
				1	0.30	0.30	0.17														
				1	0.07	0.07	0.02														
				1	0.03	0.02	<0.01														
				1	<0.01	<0.01	<0.01														
2	日本植物 防疫協会 研究所 高知試験場  沖積 灰色低地土 壇塚土 畑地 平成 12 年度	純品 0.3 mg/kg 25℃	1	0	<0.01	<0.01	<0.01														
				1	0.33	0.32	0.24														
				1	0.24	0.24	0.20														
				1	0.20	0.20	0.09														
				1	0.10	0.09	0.02														
				1	0.02	0.02	<0.01														
				1	<0.01	<0.01	<0.01														

代謝物の分析値は親化合物に換算した値  
合計＝親化合物 (平均値) + 代謝物 (平均値)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

### 5.2.3.2 圃場試験 (畑地状態)

フロニカミド 10%顆粒水和剤の 1000 倍希釈液 300L/10a を 3 回施用した。  
分析の繰り返しは 2 回で、分析は石原産業株式会社中央研究所で実施した。

供試土壌	推定半減期	
	親化合物	親化合物+代謝物
日本植物防疫協会研究所 火山灰淡色黒ボク土軽埴土	3.5 日	5.9 日
日本植物防疫協会研究所高知試験場 沖積灰色低地土埴壤土	2.7 日	2.8 日



分析機関：石原産業株式会社中央研究所

No.	試料調製 及び 採取場所	被験物質の 処理方法		経過 日数	測定値 (mg/kg)																		
		濃度・量	回数		7日カビト(A)						合計												
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値													
1	日本植物 防疫協会 研究所 火山灰 淡色黒ボク土 軽埴土 畑地 平成12年度	顆粒水和剤 (10%) 1000倍希釈 300L/10a	0	<0.01	<0.01																		
			3	0	1.83	1.80																	
			3	1	1.60	1.58																	
			3	3	1.12	1.02																	
			3	7	0.11	0.10																	
			3	14	0.02	0.02																	
			3	30	0.01	0.01																	
			3	60	<0.01	<0.01																	
			3	90	<0.01	<0.01																	
			2	日本植物 防疫協会 研究所 高知試験場 沖積 灰色低地土 埴埴土 畑地 平成12年度	顆粒水和剤 (10%) 1000倍希釈 300L/10a	0	<0.01	<0.01															
						3	0	0.18	0.18														
3	1	0.21				0.20																	
3	3	0.09				0.08																	
3	7	0.04				0.04																	
3	14	<0.01				<0.01																	
3	30	<0.01				<0.01																	
3	60	<0.01				<0.01																	
3	91	<0.01				<0.01																	

代謝物の分析値は親化合物に換算した値

合計＝親化合物(平均値)＋代謝物(平均値)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

### 5.2.3.3 容器内試験 (湛水状態)

フロニカミド純品を供試土壤に 6 µg/20 g 土壤 (乾土当り 0.3 ppm)の割合で添加し、その消長を調査した。試料の調製及び分析は財団法人 残留農業研究所で行なった。分析は2連で実施した。

供試土壤	推定半減期	
	親化合物	親化合物+代謝物
日本植物防疫協会研究所 火山灰淡色黒ボク土壤土	59 日	77 日
徳島県立農林水産総合技術支援センター 沖積細粒灰色低地土シルト質埴壤土	58 日	65 日

分析機関：財団法人 残留農業研究所

No.	試料調製 及び 採取場所	被験物質の 処理方法		経過 日数	測定値 (mg/kg)														
		濃度・量	回数		7D-カビド (A)		最高値		平均値		最高値		平均値		合計				
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値							
1	日本植物 防疫協会 研究所  火山灰 淡色黒ボク土 壤土 灌水容器内 平成 17 年度	粒剤 (1%) 3kg/10a	1	0	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002			
				1	0.287	0.287	0.284	0.284	0.284	0.284	0.284	0.284	0.284	0.284	0.284	0.284	0.284		
				1	0.274	0.274	0.272	0.272	0.272	0.272	0.272	0.272	0.272	0.272	0.272	0.272	0.272	0.272	
				1	0.263	0.263	0.258	0.258	0.258	0.258	0.258	0.258	0.258	0.258	0.258	0.258	0.258	0.258	
				1	0.247	0.247	0.242	0.242	0.242	0.242	0.242	0.242	0.242	0.242	0.242	0.242	0.242	0.242	
				1	0.226	0.226	0.224	0.224	0.224	0.224	0.224	0.224	0.224	0.224	0.224	0.224	0.224	0.224	
				1	0.197	0.197	0.193	0.193	0.193	0.193	0.193	0.193	0.193	0.193	0.193	0.193	0.193	0.193	
				1	0.158	0.158	0.157	0.157	0.157	0.157	0.157	0.157	0.157	0.157	0.157	0.157	0.157	0.157	
				1	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042	0.042
				1	0.010	0.010	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009	0.009
2	徳島県立 農水総技 支援センター  沖積 灰色低地土 壇壤土 灌水容器内 平成 17 年度	粒剤 (1%) 3kg/10a	1	0	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002			
				1	0.288	0.288	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286			
				1	0.290	0.290	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286	0.286			
				1	0.289	0.289	0.289	0.289	0.289	0.289	0.289	0.289	0.289	0.289	0.289	0.289			
				1	0.262	0.262	0.261	0.261	0.261	0.261	0.261	0.261	0.261	0.261	0.261	0.261			
				1	0.253	0.253	0.251	0.251	0.251	0.251	0.251	0.251	0.251	0.251	0.251	0.251			
				1	0.212	0.212	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210			
				1	0.153	0.153	0.149	0.149	0.149	0.149	0.149	0.149	0.149	0.149	0.149	0.149			
				1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		
				1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		

代謝物の分析値は親化合物に換算した値 \*：処理直後

合計＝親化合物 (平均値) + 代謝物 (平均値)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

#### 5.2.3.4 圃場試験 (湛水状態)

フロニカミド 1%粒剤を 3 kg/10a の濃度で 2 回施用した。

分析の繰り返しは 2 回で、分析は財団法人 残留農薬研究所で実施した。

供試土壌	推定半減期	
	親化合物	親化合物+代謝物
日本植物防疫協会研究所 火山灰淡色黒ボク土壌土	6.1 日	6.4 日
徳島県立農林水産総合技術支援センター 沖積細粒灰色低地土シルト質埴壌土	1.5 日	1.8 日

分析機関：財団法人 残留農業研究所

No.	試料調製 及び 採取場所	被験物質の 処理方法		経過 日数	測定値 (mg/kg)															
		濃度・量	回数		7-カドミ(A)										合計					
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値				
1	日本植物 防疫協会 研究所  火山灰 淡色黒ボク土 壤土 水田圃場 平成 17 年度	粒剤 (1%) 3kg/10a	0	-	<0.002	<0.002														
				0*	0.921	0.918														
				1	1.37	1.36														
				3	1.40	1.39														
				7	0.598	0.594														
				14	0.355	0.352														
				30	0.274	0.266														
60	0.084	0.083																		
2	徳島県立 農水総技 支援センタ-  沖積 灰色低地土 埴壤土 水田圃場 平成 17 年度	粒剤 (1%) 3kg/10a	0	-	<0.002	<0.002														
				0*	0.238	0.235														
				1	0.202	0.200														
				3	0.039	0.037														
				7	0.009	0.008														
				14	<0.002	<0.002														

代謝物の分析値は親化合物に換算した値 \*：処理直後

合計＝親化合物 (平均値) + 代謝物 (平均値)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

### 5.3 水質汚濁性

#### 5.3.1 分析法の原理と操作概要

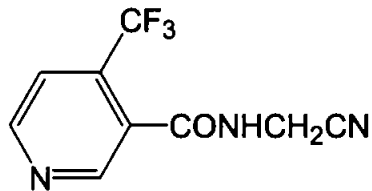
##### ・LC/MS 法

試料に酢酸を加え、ポリマー系ミニカラムに流下させて吸着させた後、アセトニトリル／水 (30 : 70) で溶出させ、高速液体クロマトグラフ／質量分析計 (LC/MS) を用いて定量する。定量限界は 0.001 mg/L。

#### 5.3.2 分析対象の化合物

##### ・フロニカミド (親化合物 A)

*N*-cyanomethyl-4-(trifluoromethyl)nicotinamide



分子量 : 229.2

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

### 5.3.3 水質汚濁性試験結果

フロニカミド 1%粒剤の 3 kg/10a を 1 回施用し、田面水における消長及び浸透水中濃度を調査した。試料の調製及び分析は財団法人残留農業研究所で行なった。分析は 2 連で実施した。

平成 17 年度

供試土壌	田面水中の推定半減期
	親化合物
沖積 灰色低地土 軽埴土	1.7 日
火山灰 多湿黒ボク土 埴壤土	2.3 日



分析機関：財団法人 残留農業研究所

No.	試料調製 及び 採取場所	被験物質の 処理方法 濃度・量	経過 日数	測定値 (mg/kg)															
				70ニカド (A)												合計			
				最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
1	(財) 残留 農業研究所 灰色低地土 軽埴土 平成 17 年度	粒剤 (1%) 3kg/10a 田面散布	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
			0*	0.591	0.592	0.591	0.591	0.591	0.591	0.591	0.591	0.591	0.591	0.591	0.591	0.591	0.591	0.591	
			1	0.375	0.382	0.375	0.375	0.375	0.375	0.375	0.375	0.375	0.375	0.375	0.375	0.375	0.375	0.375	
			3	0.177	0.178	0.177	0.177	0.177	0.177	0.177	0.177	0.177	0.177	0.177	0.177	0.177	0.177	0.177	
			7	0.059	0.060	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	
			14	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006
			21	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
			28	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
2	(財) 残留 農業研究所 多湿黒ボク土 埴壤土 平成 17 年度	粒剤 (1%) 3kg/10a 田面散布	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
			0*	0.356	0.361	0.356	0.356	0.356	0.356	0.356	0.356	0.356	0.356	0.356	0.356	0.356	0.356	0.356	
			1	0.241	0.242	0.241	0.241	0.241	0.241	0.241	0.241	0.241	0.241	0.241	0.241	0.241	0.241	0.241	
			3	0.155	0.157	0.155	0.155	0.155	0.155	0.155	0.155	0.155	0.155	0.155	0.155	0.155	0.155	0.155	
			7	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070	
			14	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	
			21	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
			28	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	

\* 処理後時間：3 時間

代謝物の分析値は親化合物に換算した値  
合計＝親化合物 (平均値) + 代謝物 (平均値)

分析機関：財団法人 残留農業研究所

【浸透水】

No.	試料調製 及び 採取場所	被験物質の 処理方法 濃度・量	経過 日数	測定値 (mg/kg)																
				70-カト (A)												合計				
				最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
1	(財) 残留 農業研究所 灰色低地土 軽埴土 平成 17 年度	粒剤 (1%) 3kg/10a 田面散布	-	<0.001	<0.001	<0.001														
			7	0.025	0.025															
			14	0.042	0.041															
			21	0.020	0.020															
			28	0.009	0.009															
2	(財) 残留 農業研究所 多湿黒ボク土 埴壤土 【浸透水】 平成 17 年度	粒剤 (1%) 3kg/10a 田面散布	-	<0.001	<0.001	<0.001														
			7	<0.001	<0.001															
			14	<0.001	<0.001															
			21	<0.001	<0.001															
			28	<0.001	<0.001															
			35	<0.001	<0.001															
			42	<0.001	<0.001															

代謝物の分析値は親化合物に換算した値  
合計＝親化合物 (平均値) + 代謝物 (平均値)

## 6. 有用動植物等に及ぼす影響

### 6.1 水産動植物に対する影響

No. (資料No.)	試験の種類・ 被験物質	供試生物	1群当り の供試数	試験 方法	試験 水温 (℃)	LC <sub>50</sub> 又はEC <sub>50</sub> 値 (mg/L) {( )内は有効成分換算値}				試験 機関 (報告年)	頁
						24h	48h	72h	96h		
1 GLP (E-1.1)	魚類急性毒性 試験 原体	コイ	10尾	半止 水式	23.0~ 23.2	>100 ( )	>100 ( )	>100 ( )	>100 ( )	(2001)	99
2 GLP (E-1.2)	ミジンコ類 急性遊泳阻害 試験 原体	オオミジ ンコ	20頭 (10頭 ×2連)	止水式	20~21	>100 ( )	>100 ( )			(2001)	100
3 GLP (E-1.3)	藻類生長阻害 試験 原体	緑藻 <i>Pseudoki rchnerie lla subcapit ata</i>	初期濃度 10 <sup>4</sup> cells/mL	攪拌 培養法	22	E <sub>r</sub> C <sub>50</sub> (0h-72h) >100 ( ) NOEC ≥100 ( )				(2001)	101
4 GLP (E-1.4)	魚類急性毒性 試験 10%WG	コイ	10尾	半止 水式	22.5~ 23.0	877	877	877	853	(2001)	102
5 GLP (E-1.5)	ミジンコ類 急性遊泳阻害 試験 10%WG	オオミジ ンコ	20頭 (5頭 ×4連)	止水式	20.2~ 20.6	128	68.8			(2001)	103
6 GLP (E-1.6)	藻類生長阻害 試験 10%WG	緑藻 <i>Pseudoki rchnerie lla subcapit ata</i>	初期濃度 10 <sup>4</sup> cells/mL	振盪 培養法	23.1~ 23.6	E <sub>r</sub> C <sub>50</sub> (0h-72h) >500 NOEC 32.0				(2001)	104
7 (E-1.7)	魚類急性毒性 試験 50%WG	コイ	7尾	半止 水式	23.3~ 24.2	140	140	133	133	(1999)	105
8 GLP (E-1.8)	魚類急性毒性 試験 50%WG	ニジマス	7尾	半止 水式	13~15	>100	>100	>100	>100	(2002)	106
9 GLP (E-1.9)	ミジンコ類 急性遊泳阻害 試験 50%WG	オオミジ ンコ	20頭 (10頭 ×2連)	止水式	21~22	>100	>100			(2002)	107
10 GLP (E-1.10)	藻類生長阻害 試験 50%WG	緑藻 <i>Pseudoki rchnerie lla subcapit ata</i>	初期濃度 10 <sup>4</sup> cells/mL	振盪 培養法	23	E <sub>r</sub> C <sub>50</sub> (0h-72h) >100 NOEC 22.0				(2002)	108

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は石原産業株式会社にある。

No. (資料 No.)	試験の種類・ 被験物質	供試生 物	1群当り の供試数	試験 方法	試験 水温 (°C)	LC <sub>50</sub> 又はEC <sub>50</sub> 値 (mg/L) {( )内は有効成分換算値}				試験機 関 (報告 年)	頁
						24h	48h	72h	96h		
11 GLP (E-1.11)	魚類急性毒性 試験 1%粒剤	コ イ	10尾	半止 水式	24±2	>1000	>1000	>1000	>1000	(2005)	109
12 GLP (E-1.12)	ミジンコ類 急性遊泳阻害 試験 1%粒剤	オオミ ジンコ	20頭 (5頭 ×4連)	止水式	20±1	>1000	>1000			(2005)	110
13 GLP (E-1.13)	藻類生長阻害 試験 1%粒剤	緑藻 <i>Pseudo kirchne riella subcapi tata</i>	初期 濃度 104 cells/mL	振盪 培養 法	23 ± 2	ErC50 (24h-48h) > 1000 (48h-72h) > 1000 NOEC ≥ 1000				(2005)	111